京城日報

（年中無休刊）

本紙定價 每號一部金四錢▲郵稅金… 壹ヶ月郵稅共前金… ▲三ヶ月同… ▲六ヶ月同… ▲一ヶ年同… ▲郵券代用一割增

廣告料金 五號十四字詰一行一圓五十錢同特別… ▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰… 六號十六字詰金一圓

發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

電話番號 長六千九番 … 振替京城三〇〇〇番

九月二十日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

フユーメ占領

其自由と併合とを宣言　ダヌンチオ氏目的達成

伊太利前外相ソンニノ氏の失脚以來フユーメ問題は巴里講和會議の重要議題より消滅しフユーメ市は伊太利の主權より漸次國際都市の形式に移らんとするの形勢を示しつゝあり然るに端なくも伊佛軍隊の衝突事件突發し其結果として伊太利第一擲彈聯隊の出發を見るに至れるが是等の事件は遂に詩人ダヌンチオ氏をして伊太利政府の手にフユーメ奪取を企圖せしむるの動機となり氏は友人なる第二大隊長ケイナ少佐と共に此の快擧を計畫せり之れより先き第一擲彈聯隊はフユーメを指してロンチ、モンファルコン（共にトリエスト灣の北方）間に出動せるがダヌンチオ氏は即ちロンチを襲し第二擲彈大隊と共にフユーメに向へり、輸送は自動運搬車を用ひイストリアを橫ぎて途中より來り加はれるフユーメ義勇軍と聯絡を保ち一擧にしてフユーメを占領し直に市廳に入りて政權を把握し續いてフユーメの自由と伊太利併合とを宣言せり事茲に至るやフユーメ駐屯伊太利軍司令官及び聯合軍司令官は急遽密議を遂げ流血の慘事を避くる爲め聯合軍隊をしてフユーメを拋棄しトリエストに撤退せしむるに決したり一說に依ればダヌンチオ氏の率ゐし兵力は一萬に上れりと（羅馬電報）

塞爾維條約調印

塞爾維對墺講和條約に調印する事に決定したり（倫敦電報）

最高會議閉會期

未解決の問題は其の儘

聯合國最高會議は今後十日間にて閉會すべく未解決の諸問題は其の儘となるべし（巴里電報）

佛國大商店危機

佛國政府の暴利取締峻嚴を極め大商店の危機切迫せり（巴里電報）

張氏 官制規程要求

張巡閱使は十六日政府に對し東三省巡閱使官制規程並に吉林省長郭宗熙氏の更迭を要求し來れるが右は張氏が寬城子事件終結と共に大巡閱使の權限を確立せんとするの魂膽なる事明白也（北京電報）

吉林 督軍公署移轉

張巡閱使は東三省の軍界を統一する爲め今回吉林督軍公署を長春に移すべく鮑吉林督軍に對し意見を徵し來りしより鮑督軍は郭省長及び省議會長、各代表者等を督軍公署內に招き右贊否に就き協議を遂げたる結果滿場一致にて移轉に贊成したるより鮑督軍は直ちに其旨張氏に申達せるが督軍公署の長春移轉は近く事實となり現はるべく場所は道尹公署內に內定せり而して之れと共に長春の吉長鎭守使衙門は吉林省長公署に移さるべしと移轉の主因は交通の關係にありと云ふ（長春特電）

南方側態度軟化

王揖唐氏は十七日上海に到着せるが南方の反對意外に強硬なるも內部に於ては漸次軟化の形勢を示しつゝあり（北京電報）

日佛 暫定取極公文

日佛通商航海に關する暫定取極めに關する往復公文書は十九日外務省より發表さる（東京特電）

西伯利 政策決定

獨力を以て治安維持に當らん—近く外調會にて審議

對西伯利政策に就きては我國は他の列國と同じく當分成行に任せ若し極東三州が過激派の侵入を受くるが如き場合は帝國は接壤地帶の關係上獨力を以て其治安維持に當らざる可からず之が爲めには增兵をも辭せざる方針に略ぼ決定したるが近く開會さる可き外交調査會にて更に審議さる可しと（東京特電）

郡制廢止

內定と議會提出

政府は郡制廢止案を來議會に提出すべく各地方長官の意見を徵しつゝありしが右は廢止に內定し愈々來議會に提出すべしと傳へらる（東京特電）

ラ氏政治顧問

前駐米公使ラインシユ氏は支那政府の政治顧問たる約束成立したるが氏は一旦歸國後來京すべしと（北京電報）

李王天機奉伺

大皇皇后兩陛下には十八日還幸啓相成りたるに就き李王同妃殿下及び李堈公殿下には十九日天機並に御機嫌奉伺の旨執奏方總督に申出ありたるを以て總督は直ちに宮內大臣を經て右執奏方依賴の電報を發したりと

勞働代表行惱

本多博士の勞働代表に就きては未だ未回答なるが十九日博士は床次內相と會見意見を交換せり一方高野博士も承諾未定にて目下行惱み中なりと（東京特電）

山內男薨去

前室蘭製鋼所長海軍中將山內萬壽治男は十九日午前四時突如大井の別莊にて薨去せり（東京特電）

米艦來航見合

米國新太平洋艦隊の日本來航は都合により見合せたり（東京電報）

鎌田幣原兩氏出發期

勞働特使鎌田榮吉氏は十月十日出發新任駐米大使幣原喜重郎氏は同十二日發赴任に決定せり（東京電報）

宇佐美氏敍位

正四位勳二等　宇佐美勝夫

敍從三位

今回左の如く敍位の御沙汰ありたり（東京特電）

林長官東上

林關東廳長官は二十日大連港出帆の哈爾賓丸にて東上せるが用件は廟議上に就き內閣と打合せの爲めなるべく滯京期間は未定なりと（大連特電）

時局講演會と中樞院會議

各道より鮮人中德識あるもの五十四名を招致し目下の時局に必要なる講演會を催す由は既報の如くなるが右に就き二十日午前十時より中樞院に於て會議開會當日は水野政務總監臨場の筈なりしも氏は咽喉病の爲め出席し難く赤池內務局長代りて出席し陶山通譯官の通譯に依り一場の挨拶を爲し召集の次第を述べたるが政務總監は其內一應臨場し訓示する處あるべしと

會計主任會議

二十日より二十二日迄向ふ三日間總督府第二會議室に於て各道會計主任會議開會二十日は午前十時より靑木庶務部長の訓示ありそれより協議事項に移り午後四時閉會せり

全鮮水產業者

最近總督府調査に係る全鮮水產業者は內地人業主戶數五千二百五十一戶一萬八千七百五十人從業者二千六百六戶七千百五十九人を算し朝鮮人業主十萬二千八百六十二戶人口四十萬六千九百十五人從業者九萬二千七百六十九人にして前年に比し內地人は八百十五戶三千六百三十六人を增加し朝鮮人は戶數に於て百五十六戶を減じ人口に於て三萬三千三百七人を增加せり斯く內地人の戶口が增加せしは從來內地より通漁せし漁民中經營上充分の見込立ち移住したる者多かりしに因る又朝鮮人の戶數を減少せしは時局の影響を受け小資本家の共同經營を爲すに至りしもの少からざりしに因るものにして人口の增加は從業者にして內地其の他へ出稼せし者の家族が業主と同居し經濟を同ふするに至りし者多かりしに因ると

朝鮮染料好況

朝鮮向染料界の近狀を聞くに蓋し秋に近づきたる事とて目下非常に活氣を呈し値段も漸次上向きの狀況にあり昨年より景氣よく賣行頗る旺んなりと又獨逸染料は本年中到底輸入不可能なるべく例令今後輸入する共最近內地製の染料の如きは遙に獨逸品を凌駕しつゝあれば獨逸品は到底戰前の如く歡迎されざるべし

電車賃金改正

京龍兩線に分つて均一とす

京城電氣會社にて市街電車の賃金制度改正を企てつゝある事は既報の如くなるが最近聞く所によれば會社案たる現在區間制の値上は會社に於ても之を捨て當局の意向に從ひ均一制を實施すべく鐵道部に右許可を申請したりとの事なり唯均一制と云ふも全線の均一にあらず南大門驛前を境界として龍山線全部を一區五錢とし又京城線全部を一區五錢に定めんとするにあり從つて龍山より京城まで乘車せんとすれば十錢を要する勘定なり尙ほ光熙門線淸涼里線並に麻浦線は右均一以外とするものゝ如く實施は十月一日の見込みなりと

當局者の談

右に就て當局者は曰く未だ決定はせざるも當局としては均一制によらしめたしと考へ居れり蓋し會社案たる現區間制の引上げは結局三錢五厘と云ふ率は剩錢の關係上容認し難く四錢とすれば稍々高率に過ぎ均一制とせば一般の利便少からずと信ずるを以てなり唯會社當局は均一制實施の結果減收あるべしと危虞しつゝあり素よりその結果如何なる變化を生ずるや豫斷し難きも一時減じたりとは云へ若干の時日を經ば復舊し更に市民の利便增加と共に增收を來すならん

森林鐵道事業

大川平三郎氏等によりて計畫されたる朝鮮森林鐵道會社は去る十六日設立認可の申請を其筋に提出せるが右に付き某氏は語つて曰く森林地今の伐採搬出の狀況を觀るに鴨綠江豆滿江共に水路に據り流筏搬出をなすも筏作業には種々の不便不利益あり即ち發現期間より澁水期に至る短期間なること、出水減水の爲め作業中止さるゝこと、世間好景氣の爲め內地筏夫募集困難を免れざること、流筏時期は各方面の伐出材流下に混雜し作業意の如くならざること、出水に際し木材の流失の危險あること、現今の伐採箇所は比較的搬出に便宜なる林地なるも漸次奧地に進むに從ひ生產費も昂上し收支償はざるに至るべきこと等にて要するに一般木材流送事業は水路短く其輸送能力に適應したる伐採量の場合に於ては有利なるも鴨綠江豆滿江流域は實に百數十町步に及び且搬送能力は大森林の巨額木材の搬出に適應せざるものにして該森林の積極的利用を講ぜんとせば森林鐵道敷設を斷行するの外なきは毫も疑ひを容れざる所なり本鐵道完成の曉には製材パルプ乾餾等の諸工業を誘興せしめ一般北鮮開發の端をなすや論なき所なりとす該鐵道の起點は咸興にして其終點は平安北道厚昌郡厚州古邑なり其經由地の主なるものは咸興郡五老里、下通里、鳥津、古土水、下碣隅里、舊鎭、德實洞、長津、平安北道江界郡洞口にて軌間は二呎六吋の單線式にて總延長…社線營業開始期は大正十一年四月頃なるべしと云ふ

仁川期米暴落

二十日前場の仁川期米は寄附き四十…錢九十錢安値四十錢止め四十八錢と前日後場に比し小戾丁の暴落なるが右は前日買ひ過ぎの反動利喰押しのためなるべし

鮮銀店長會議

鮮銀支店長會議は二十二日午前九時より同行樓上に開會の事に決定列席の各支店長は二十日までに半數以上來城二十一日中に全部入城すべし尙ほ本店よりは正副總裁太田片山兩理事吉田井內橫山三局長その他の幹部は行務に差支なき限り席に列すべく三島理事は病氣のため缺席する由

鮮銀紐育出張所

鮮銀紐育出張所は米國官憲より認可せられたる旨十八日入電ありたるも開店期は未定なりと

辭令（十八日附）

京畿道事務官　今村邦典

京畿道第一部長を命す

忠北道事務官　河野榮太郎

忠北第一部土木課長兼同審査課長を命す

同技師　宮本政藏

同勸業課長を命す

同技師　鈴木兵作

同第三部衞生課長を命す

旱害救濟囑託

中樞院副議長李完用伯同顧問閔泳綺男鮮銀副總裁嘉納德三郎京城商業會議所副會頭釘本藤次郎漢城銀行頭取趙鎭泰の五氏は今回臨時旱害救濟委員を囑託されたり

敎育研究會役員

朝鮮敎育研究會にては曩に會長山縣伊三郎氏副會長宇佐美勝夫氏幹事長關屋貞三郎氏等辭任に就き新に會長に水野政務總監を副會長に柴田學務局長を推す事とし既に兩氏の承諾を得たるが尙幹事長は當分缺員の儘なる由

京畿面豫算

大正八年度京畿道面歲入出豫算を聞くに歲入出共七十三萬六千七百二十八圓にして七年度に比し二十五萬三千餘圓の增加を示せるが其中最高は高陽郡管內の八千九百二十六圓最低は富川郡管內の九十四圓又一面當り平均は二千七百六十圓なりと

仁川取引所大商內

仁川取引所にては十九日前後場共相場の波瀾ありしと新なる仲買人の開店にて賣買出來高空前の巨額に上り五十三萬三千三百石と云ふ所の新記錄を作れるが過般許可されし仲買人未開業の分も數日中に何れも準備出來の模樣につき今後は更に賣買の激增を見るべく取引所の收入は著しき好況を示し居れりと

大演習陪觀決定

今秋十一月擧行さるべき大演習陪觀の爲め第二十師團兩旅團より佐官一名宛派遣する事となり步兵第三十九旅團は橫澤少佐步兵第四十旅團は佐々少佐に決定したりと

倭城金融組合

京城倭城金融組合は十八日設立を認可せられ組合長に中井忠三氏理事に小野龍吉氏就任せり

本町署長事務引繼

新に本町署長に補せられたる千田警視は十九日出署し署內事務室に署員一同を集めて新任挨拶をなしたるが當日は小牟田前署長も病軀を押して出署し事務の引繼ぎを爲したるが二十二日迄には全部の引繼を了すべしと

鑛業會講演會

既報の如く朝鮮鑛業會にては廿一日午前九時より朝鮮ホテルに於て總會開催の筈なるが同日午後一時よりの講演は之を公開して一般の來聽を歡迎する由其の講者及び演題左の如し

ニユーカレドニヤに於けるニッケル鑛業　永興金山 工學士 木幡吉治君

兼二浦三菱製鐵所の設備及作業の狀況　三菱製鐵所 工學士 河村驍君

含金硫化鐵の處理法　京大工科大學敎授工學博士 渡邊俊雄君

因に渡邊博士は講演の爲め特に來鮮したるものにして此の外東大工科大學敎授井上匡四郎博士にも講演を依賴せるも二十日迄確定せしは右の三氏なりと

上海近狀

排日貨問題の前途如何

店長會議のため來城せし橋本鮮銀上海支店長の談片に曰く

上海の排日貨 問題も既に久しく打續き居れるが之れが解決は遲からず乃ち其の一斑を見るも日貨排斥のためストックの儘動かし能はざるわが商品中支那人の買持は既に五千萬圓を超過し居れる旁々舊曆八月十五日の中秋決濟に際し各日貨ストック品の手持支那人が現在の儘ストック品を動かし能はずとせば債務の決濟に支障を來し遂に倒產の悲運に陷る者少からざる有樣なり從つて予の上海出發前の狀態にては支那實業家中日貨排斥に狂奔する

財界閑話

最近鮮商の金融逼迫より起つた綿布界の恐慌に最も關係の深いのは第一銀行支店らしい▲若し窮地に立つた鮮商がバタバタ仆れたならばその尻は最も多く一銀に行つたであらう▲昨春の羅紗事件でも一銀は殆んど一行で關係してゐた、綿布の問題になるとすぐ一銀が出て來る▲それは貸出高の數字と今回の問題の解決に骨を折つてゐる態度によつて見る事が出來る——とは朝鮮側銀行の言ふ所である▲所が一銀の當局は整理問題に對する盡力は鮮商の熱心な依賴により相當試みてゐるけれど窮商逆に對する關係は朝鮮側の銀行程ない▲一體第一銀行の鮮人取引先は殆んど一流ばかりだつたのであるが此の八月の金融緊縮以來朝鮮側銀行より融通を絕たれ一銀に泣きついて來た鮮商は少なくない▲乃で相當の擔保があるならかかる場合に金融の調節をしてやるのは一銀の如き銀行の正に出づべき所だと思つて比較的に好いのを選り取りし始めたのである▲而して今回の金融の硬さは八月中旬頃まで金融の便をつけ乍ら朝鮮側の銀行がポイと途中でツキ放したと云ふのは多少首肯の出來ぬ點がある▲ツキ放すまでに相當自戒をさせてよくはなかつたかと吾々は思ふ從つて一銀と鮮商との關係は新たなるため取引の數字も多くないと云つてゐる▲是非善惡は別として一銀行が鮮銀の活躍以來從來保守的の消極振りから積極的進取的態度をとつてゐるのは認むべき事實である▲又何か問題が起ればすぐ一銀——の噂を聞くがそれだけ此銀行の關係は各方面に深く行き渡つてゐるのらしい

支那學生團 何者ぞ

なす皇風漸く勢ひを增し來る模樣ありと從つて或は中秋前後を一段落として排日貨問題も落着するに非ずやと觀測さる尤も排日學生團は日貨を用ゐず英米貨の輸入を圖るべしと強辯し居れ、成程米貨は時々入貨するも大したものにあらず況んや英貨に至つては近年先物約定漸く結ばれ初めたりと云へ英國の現狀より見て多量の紡織品並に雜貨を支那に輸出し能はざる事は略想像し得らるゝにつき結局日貨に依る外なき譯なれど彼等は自國の經濟を顧みず排日貨を

續け居れり

貿易の狀態は以上の有樣にて輸入少く輸出の見込みと云ふも可なる位につき片爲替の結果は金利の昂騰となり最近市中金利は日步二錢五分見當に昂上し更に強含みなり旁々わが銀行は資金を得るに苦しみ何れも營業振はざる有樣なり

人事消息

▲伊吹震氏（朝鮮興業株式會社重役）十九日夜入城巴城館へ▲百瀨しず子（讀賣新聞記者）二十日朝入城龍尾へ▲飯泉幹太氏（鮮銀祕書役長）胃病にて總督府醫院に入院中の所二十日退院▲吉田節太郎氏（鮮銀營業局長）十九日夜東京より歸城▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）十八日公用にて大邱へ出張中十九日夜歸城▲渡邊俊雄氏（工學博士）▲河村驍氏（三菱製鐵所技師）朝鮮鑛業會總會列席のため北上入城天眞樓へ▲木幡吉治氏（工學士）▲宮田儀作氏（鎭南浦商議會頭）浦尾へ▲西崎鶴太郎氏（實業家）▲米山久彌氏（電興常務）▲久保順吉氏（鐵業家）同上▲平澤步兵中佐（平壤高級副官）簡閱點呼視察の爲め二十二日出發淸州木浦地方へ▲湯淺時彥氏（平壤旅團副官）步兵第七十八聯隊中隊長（榮轉）二十五日出發の豫定▲吉田盛三氏夫人 龍山野砲兵聯隊附の同氏夫人は十九日永眠せるが葬儀は鄉里にて執行

其の日その日

◇援助か放棄か、茲暫く躊躇せし列國の對露政府策は、講和最高會議に於て、漸く決定せしもの、如し、大體に於て列國は遂に露國を放棄せしが如き觀あるも、又一面より見れば、協同干涉を廢止せんとするが如し。放棄にせよ協同干涉廢止にせよ、要するに列國は各自任意の對露行動を取るを得べく、從つて各國の對露政策も、自然變化すべきは當然也。同時に又日本の對露政策上にも變化あるは、推察するに難からざる也。◇露國對隣國との戰爭は、是れ成行に放任することある以上、西伯利過激派討伐の如きは、自由勝手に行はるべき譯也。速かに徹底的手段に出でよ。◇倫敦借款團は、日本の滿蒙除外主張に贊成せしが如く、オムスク政府對日本借款は、好々に進捗しつゝありと報ぜらる。何だか遽に調子が好過ぎて、更らに其の反動の恐ろしき感無くんば非ず。吾人は之れが杞憂ならざらんことを切望して止まざるなり。◇支那は新銀行團成立に關し、愈々大困難に遭遇し、此の處置の感なる氣の毒也。政治借款の束縛は之を得ずとするも、經濟借款も亦束縛せらるゝに至らば、遂に國を擧げて新銀行團の協同管理に委すると同樣也。新銀行團の危險千萬ならずや。更に危險なるは、一部排日分子にして彼等は日本を侵略主義と誤解し、寧ろ今日新銀行團に賛し、日本の勢力に當らんとし說く者あるに至つては、何ぞ其の思はざるの甚だしき。自我の誤解、宇內の大勢に盲目なる彼等は、自ら進んで其の國家を破壞せんとする恐や之れに及ぶ者なかるべく、支那の爲に悲むべき也。

最近偉人物語 野邊地天馬著（好評三版） 四六判三百七十頁 定價金壹圓五拾錢 送料八錢 十九世紀より現代に亘り歐米偉人二十八名●世界的日本人二名の立志出世美談！青少年無比の讀物！名流會讀物調査部當選

邦文武士道 新渡戶博士著 櫻井鷗村和譯 菊判上製定價壹圓廿錢送料八錢 世界的聲價ある書！第十二版 模範的の譯文！文部省認定圖書

リンコーン物語 櫻井鷗村著（縮刷十二版） 定價壹圓五十錢◆送料八錢 邦文リンコーン傳中に於て不朽の名著と稱せらる一子人の荒原の少年が後年白亞宮の主人となりて世界人道の爲に貢獻せる經路は著者の靈筆に依り紙上に活躍す

安全第一 袖珍美本◆定價三拾錢送料四錢 見よ！聽け！心せよ 新文明の新道德

歐米の逸話 野邊地天馬著（再版） 全篇悉く珍奇なるもの未だ多く傳へられざるもの、陳腐なるもの非敎育的なるものを避けたれば何れの家庭にも歡迎せられ如何なる人にも愛讀せらるべきを疑はず

貯金道話 黑天外著 好評六版 六判◆定價五拾錢◆送料六錢 致富の根本理法 文部省認定圖書

肉彈 櫻井少佐著 五十版 定價壹圓◆送料六錢 世界的名著 家庭無比の讀物

銃後 定價壹圓◆送料六錢 明治文壇の傑作 國民文學の絕品

最近支那經濟 財政經濟時報記者 生永助著 菊判定價貳圓七拾錢 組織的、綜合的の支那財界の縮圖として本邦唯一の名著好評嘖々三版發行

母を慕ひて 野邊地天馬著（最新刊） 定價壹圓五拾錢送料八錢 色版 母子の愛情を中心としたる世界十五ヶ國の名話三十篇を收む 尋常四年以上中學二年程度の讀物

發行所 東京市麴町區元園町三丁目 丁未出版社 振替東京七八四七

冬物品揃!!

メリヤス類一切 相棒其他加工品 毛布 タオル 首卷 各種

昨今各種綿製品は暴騰に暴騰を重ね天井知らずの勢なるも幸にして弊店は先物買約割安品多數持合有之候へば此際御得意先に對し日頃の御引立に酬ひ得らる可く確信致居候間多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

京城南大門通二丁目 各種雜貨 卸商 瀨戶商店 電話一七一番 振替一四〇一番

最新 書式大全 京城日報社編纂

菊版クロース製美本九百頁◆定價參圓郵稅二十七錢 本書は最新の朝鮮書式大全にして各部關係の規則に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、產業、特許、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部の一々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅して餘さず各階級を通じて必携缺ぐ可からざる良書なり

發行所 京城日報社代理部 取次販賣所 京城太平通 大阪屋 巖松堂 日韓書房

拜啓仕候 時下秋冷ノ候益々御淸榮ノ段奉賀候陳者每々特別ノ御引立ニ預リ難有御禮申上候就テハ主事神戶修三今般都合ニ依リ辭任ノ爲メ後任トシテ野口運平着任候間前任者同樣倍舊ノ御引立御愛顧ノ程奉願上候右御挨拶旁御披露迄如斯御座候 敬具

大正八年九月二十日 京城大和町一丁目 大倉商事株式會社 京城出張所

拜啓仕候陳者今般都合ニ依リ大倉商事株式會社ヲ辭シ內地へ引揚ゲ可申候處當地在任中ハ公私共多大ノ御懇情ヲ辱フシ難有御禮申上候就テハ本月二十二日午後七時十分南大門驛發列車ニテ退城可致候ニ付一々拜趨ノ上御暇乞申上ク可キ筈ノ處諸事取込ノ爲メ其意ヲ得ズ失禮ノ段何卒不惡思召被下度茲ニ紙上御挨拶申上候

神戶修三 同 家族一同

勞力半減 道路保護 無限軌道（實用新案）

▲▲試よ無限軌道の偉力!! 一日遲るれば一日の損!!

◆車使用者の大福音◆

全部鐵製◎構造堅牢 改正定價 荷車用金參拾八圓 二輪荷馬車用金五拾九圓 二輪牛馬車用金六拾九圓 四輪荷馬車用金七拾九圓

◎現在使用の荷車に此無限軌道を付ける三分の力で車が動く ◎惡道泥道砂道等に於ける偉大なる効力を有す

◎無限軌道は現在の荷車に何等の道具も要せず取付出來る

▼朝鮮滿洲特約店募集 郵券拾錢付申越次第型錄規定贈呈

無限軌道製作發賣元 大阪西區新町南通五丁目 合資會社 持田商會 無限軌道部 工場增設 製作迅速 支店

國境横斷旅行（三）

鍾城名物麻織物と硯　人情は呆れる程朴直　百姓成金と其の弊害

李太王殿下の國葬に麻織物　一風變つたスリチビの親爺

鍾城にて　特派員　伊藤韓堂

鍾城から恵山鎭へ

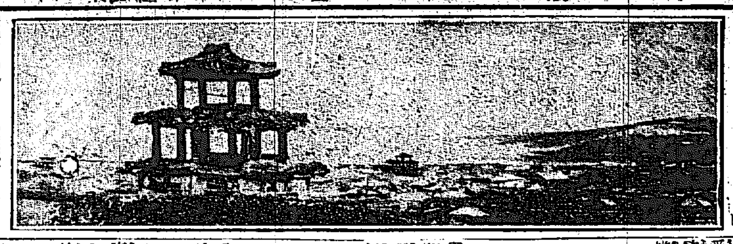
鍾城郡の名物は麻布と鍾城硯である。麻布は鍾布ともいうて京城でも價高く取引される。殊に此の郡の開溪面を流れて居る

五龍川の沿岸

に出來た大麻は立派なもので曝さないでも色が白いさうだ。昔から國葬の時は數千匹づつ獻上して宮中の御用をつとめ李太王殿下の國葬にも多數のお買上げを被つたさうだ。秋から冬、冬から春に掛けては遠く京城、元山、鏡城、清津又は平安南北道方面から商人が大勢入込んで

鍾布を買集め

るのであるが郡内の



鍾城の全景

生産は年額二萬匹内外ださうだ目下洞契で生産品の改良を企てて居るが充分でなく將來組合でも組織して粗製濫造を防ぎ聲價の向上に努めねばならぬと郡守柳基鎭氏は語つて居つた。鍾城硯も龍溪面の山中から出る石であるが其の質が頗る堅く先年内地から石截鋸を購入して截かせたが鋭利な内地鋸も其の刃が立たず今は在來の朝鮮鋸で切つて細工をして居る。石は黒色で

黒耀石の如に

一種の光澤を持つて居つて硯にしないでも床の飾物になる。硯細工には地方で百圓許りづつ補助して居るさうだ。本郡内は山岳多く人口比較的稀薄であるが住民は頗る朴直で記者が一夜の宿を借りた對岸の酒幕の親父の如きも『京城から態々見ゑたのに一晩泊めたからこそ宿賃が貰へますか』と宿泊料を取るまいとするのに困つた位だ。また渡船も支那側の船で

船夫は朝鮮人

だが支那官憲に對し一時金一千二百圓を預け入れ其の權利を得て居るのであるが渡船料が馬共三十錢の所へ小錢が十六錢しか無かつたら其れだけで宜しいとて河を渡つてから殘りを遣らうとしても何うしても受取らなかつた。朴直なのか寡慾なのか知らないが總て斯の様な有様であつた。然しながら勞銀は頗る高く人夫賃が普通一圓六十錢から一圓八十錢、其れでも働かうとしないのに往生するさうだ。之れは一昨年白豆の騰貴で到る處に

百姓成金簇生

の結果農民の懐は頗る暖かく、昨年の暴落で少々は痛められたが、夫れでも未だ仲々有福であるのに今度豆滿輕鐵工事を始めて人夫數百人を雇傭するに至つたので此の界隈にお金が落ちる様になり随つて勞銀が下らないのであるさうな。之れは此の地に限らず間島及び鍾城會寧郡の豆滿江沿岸に於ける一般の狀態であつて從來粟飯を食つて居つた者は白米食となり間島米で我慢して居つた者は朝鮮米でなければ満足が出來ぬといふやうなことに成つて來て漸から奢侈に流れて來た。

總督夫人の懐しく

遙々出て來た田所中將夫人

是を機會に子供の様に京城見物　普通學校や書堂も見る

『鎭海は佳い處ですよ』と田所中將夫人は入城の途次列車中で莞爾やかに語るやう『風景は佳し氣候は好し殆然別莊地にでも居るやうな心地が致します、けれども夫だけ又不便で寂寥は免れません、

昨年の暮

赴任以來良人や子供は京城へ再々參りましたが私は釜山から直に鎭海へ參りました限、未だ朝鮮の都を見ずに居りますので今度總督御夫妻の御入城を幸ひ御挨拶旁た出て參つたやうな譯です總督の奥様にはかねぐ東京で

お見知り

を願つて居りますので、慾うして遠く離れた朝鮮へ被在つたと聞いてはお懐しさも一入で、最も矢も楯も堪まらず無理遣りに良人の足手纏ひになつて參りました。總督夫人は海軍の功勞者

仁禮子爵

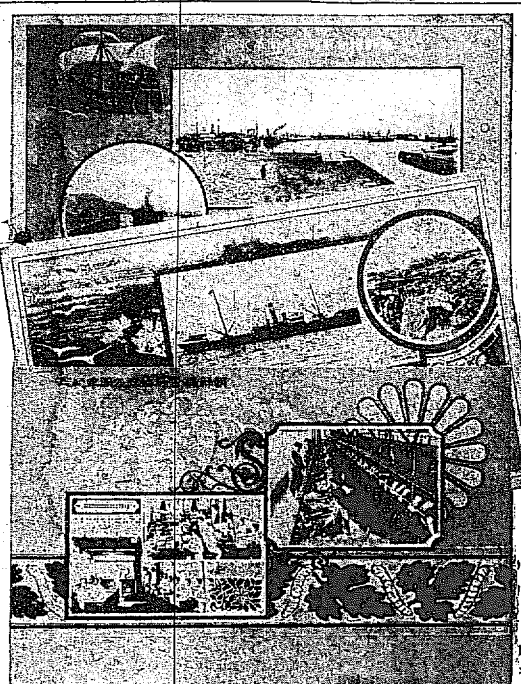
の御息女で眞に行届いた親切な好い方で御座います御夫婦仲も睦まじく模範の御家庭と御推賞申上げたい程ですが、惜しい事には御子様の被在らないのが殘念で御座います嘸お淋しい事と御察し致しますが之ばかりは

思ふ様に

參りません、それでも豐川良平氏の五男の齊雄（二三）を御嗣子になすつて只今では大學に御通學ですから結構で御座います。私は京城へ參りましたら廣泰と一緒に子供のやうになつて此處彼處を見物致す積りです、それから是非觀て置きたいのは鮮人の學校で、純粹な

朝鮮風の

教育の仕方も參考の爲めに參觀しいと思うて居ります、私共は何やかやと婦人の眼で朝鮮を見て置き、能ぬながらもいろくと研究する必要があらうと思ひます』と著いた中にも進取的の氣風の微見ゆるは奈何にも海軍將官の夫人に相應しいと頌かれる。



始政九周年記念繪端書

（上）仁川築港（中）清津の輸出菜豆と日本海横斷船立神丸（下）恩賜授產京城製絲場と濟生院盲啞部

仁川招魂祭

仁川神社境内にある磯村大尉以下の忠魂碑前に於て二十日午前十時より恒例に依り招魂祭執行せらる、各官廳職員在鄕軍人會員愛國婦人會、篤志看護婦人會員、各學校生徒其他官民多數の參拜あり午前十一時終了更に東本願寺に於て招魂祭を營めり（仁川）

咸南地方の古城址

一箇月の豫定で調査す

池内宏氏の話し

總督府古蹟調査委員池内宏氏を朝鮮ホテルに訪へば咸南方面への出發の間際早匆の間に語る　私は去年も朝鮮へ來た丁度今頃遊び旁古蹟調査をして歩いたが今年は總督府の用命を帶びまして咸南地方の古城趾の調査に出掛けます

豫定は

約一箇月位の旅程で普通の遺跡や古墳等は遺憾ながら見捨て歩く筈です、古城趾調査などいふと世間では否氣な旅行位にしか考へないかも知れないが割合に艱難の伴なふ者で足と頭腦で歩いて眼と耳を鋭く働かせねばならぬ仕事で、夫れで現代とは直接の

交渉が

ないやうに見ゆる仕事だから吾々のやうな超世間的の觀念を有つて居る者でなくては之に沒頭し得られない。史蹟古跡の探査に依つて得る處は人文の進化、人類の動移歴史の頁を裏から繰つて行くやうなもので其處に又言ふに言はれぬ

眞味が

あります、咸南地方には相當に古城趾があり又學術上から見ても面白いものがあるやうに聞きますが夫れも調査の上でなければ何ともお話は出來ない何れ發表する機會がありませう云々

釜山にも廻航

戰利潛水艦

一時廻航する事となりたる戰利潛水艦は其後鎭海要港部より交渉の結果確定の如く來る廿五日〇五號を釜山に入港せしむる事となれるが觀覽人員に制限あるを以て府當局は成可く青年或は學校生徒の上一般人士に説明教導をなし得る者等に對し觀覽券を交附したき希望なりと（釜山）

京城に虎疫若し發生せば

京城人士の耻辱

泥棒を見て繩を綯ふの愚を演ずるな

虎疫發生以來當局は公衆防疫の方法として多額の費を國庫より支出し防疫委員を編成し虎疫の侵襲に對しあらゆる方面に警戒を嚴にしてゐる、例へば新義州方面の虎疫に對しては開城に停留檢疫所を開始したり、京義線方面の虎疫に對しては平康、元山長端に於て飽く迄防止せんとして新に檢疫所を設け元山方面よりの虎疫に對しては平康、元山で檢疫を實施し、

陸路浦鹽より

徒歩入鮮者に對しては臨津江に沿ふて五ヶ所の檢疫場を設くる等其事業たるや容易ではない更に最近に至つては同江上流に向つても檢疫所を新設すべく計畫して居る、又一方には無料にて豫防注射を勵行し、衛生講話、活動寫眞等を催して豫防のプロパガンダに努め、或は蠅の買上、或は從來一日八名しか使用してゐなかつた共同便所掃除人夫を十二名とし或は河川溝渠の

清潔法を勵行

疏通の爲從來三十人しか使用して居なかつた人足を百人以上とし、京城に對しては一歩も虎列拉を入れまいと苦戰奮鬪してゐる、最近に於ては水道は每日細菌學的の檢査を行ひ、不潔な水で洗つた野菜の販賣を禁止し極力防疫に努めてゐる、然るに京城人士は一般に衛生思想が幼稚の爲めか豫防接種の如きも無料であるにも拘らず進んで受けるものゝ尠く

無料注射開始

以來、京城龍山間にて内地人千五百人鮮人約八百名位しかない、京龍の人口に對し誠に僅少である、口を極めて豫防接種の効果を説くも中には『未だ京城に虎疫が流行しないのに注射でもありますまい一人でも發生したら其時受けませう』と平然たるものがあるに至つては言語道斷である泥棒を見て繩を綯ふの愚を笑ひながら、自分もそれと

同樣の愚を演

じつゝあるのだから呆れざるを得ない、若し京城に虎疫發生せば其の時こそ醫者の手は足らず豫防注射を願つても容易に受けられない事となる、又注射も直ぐ効果があると云ふでなく一週間なり十日經つて始めて効果があるのだから、京城に虎疫が發生してからでは既に遲い日暮れて道遠しでは心細いではないが、此の機に乘じ虎疫は忽ち傳播して

慘狀を呈する

のだ殷鑑遠からず之を平壤に見よ殊に開城に見よ思ひ半ばに過ぐるものがあらう。此際全府民が豫防注射を受けなければならぬ、又衛生講話を聞いても衛生活動寫眞大會を催しても入場者は言葉も通じない鮮童が多數を占めてゐるやうでは全く府民の衛生思想の低級なのを證明してゐるやうなのだ、開業醫は貴重なる時間を割いて熱心に努めてゐるに拘らず府民が

熱心を缺く事

は遺憾である豫防注射にしても接種の液は無料に附されるもの▲開業醫の方では貴重なる時間を割く許りでなくそれに要する消耗品も尠くない、消毒藥ガーゼ絆創膏の類の消費も大したものである、或は注射器が折れたり曲つたり今や京城府内には新しいのを求めやうとしても拂底を來し

多額の費用を

投じて内地から取寄せねばならぬ態にある、斯の如く當局が努力し醫師が苦心してゐるにも拘らず京城府民が虎疫に對し平然たるは甚だ其の意を得ぬ、若し是で一人でも患者を出したら罪は當局にあらずして府民にある、虎疫を出したら京城人士の非常な耻辱である事を明記され度い

列車内で吐瀉

檢鏡の結果陰性

十七日午後十一時釜山發北行急行列車乘客中の内地人一名吐瀉したるより列車乘込の防疫員は直に該患者を清道驛に下車せしめ同乘者内地人九十一名鮮人十三名は檢疫上大邱驛にて下車を命じ豫て隔離收容所に當る舊第九中隊兵舍に收容したるが清道驛に下車せしめたる患者は檢鏡の結果陰性と決定し十八日午後一時隔離者全部を解放したり（大邱）

北滿地方に眞正ペスト

虎疫亦猖獗

浦鹽派遣軍司令部衛生部より軍司令部に達したる情報に依れば浦鹽ハバロフスクにては

哈爾賓より來れる軍

人列車に對しては隔離檢便を行ひつゝあり又浦鹽より交通船に乘船（便乘）者は乘船前に同一檢便を行ひ保菌者ならざるものに限り乘船を許可されあり露國防疫委員の通報に依れば十二日浦鹽市にのみ發生したる虎列拉患者は新患十二名、死亡十名現在患者六十五名なりと又ブラゴエシチウエンスクは初發以來

十二日迄に

虎疫患者四名死亡二名に達し十一日虎疫に對し駐屯軍隊は第二期豫防法を實施せり又北滿マツチエフスカヤ驛（滿洲里西方五里）に十一日露國人二名疑似ペストに罹りペスト研究所長ワスレオスキー氏出張

檢鏡の結果

眞正ペストと決定したりと滿洲及朝鮮は昨今頻りに虎疫に脅されつゝある折柄ペストの突發は又更に神經を針の如く鋭敏ならしむるものと云ふべし

戰利潛水艦の爆沈期

日本は十二月末と決定

歐米諸國では十月三十日

聯合國に割當てられたる獨逸潜航艇は何れも沈沒處分を爲すに決せるが歐米諸國に割當たるものは十月三十日を以て全部撃沈せしむることゝし日本へ廻航したる分は十二月末沈沒せしむることゝなり居れり但し機械等も全部艦體共に沈沒せしむるか否や等は未定なりと（東京特電）

仁川に眞正虎疫

青島より入港の霧島丸舵手

患者は十九日夜死亡す

十八日午前十時仁川入港の第十八號霧島丸にコレラ患者一名を發見したるが患者は同船舵手新垣正則（二〇）なる者にして十九日夜十二時遂に死亡せり同船は青島より出航せるものなれば病原は多分青島なるべく患者の屍體は火葬に附し同船は五日間の停船を命じ乘員二十三名に就ては檢便檢鏡中なり（仁川電話）

赤十字の活動

防疫に盡力

日本赤十字社朝鮮本部は過來京城府廳と共同し京城各所にコレラ豫防講話活動寫眞會場の準備フヰルムの映寫等日夜職員出張盡力し居れるが今回コレラ豫防心得を印刷に附し京城其の他各支部宛多數配布する由

菓子職の災難

太平町一丁目番地不詳金相根（二五）は岡崎町藤製菓株式會社の職工なるが十八日午後四時頃同工場に作業中上部より落下し來れる機械の爲め右足膝下骨折其他數箇所に打撲傷を受け直ちにセブランス病院につれ込み治療を施したるも餘程の重傷にて全治までには相當の日子を要する見込みなりと

○嬰兒の屍體を發見　十六日杏村洞一番地側より社稷洞に通ずる道路の城壁跡に屍後十日位の鮮人嬰兒屍體を白木綿に包み遺棄しあるを發見し鍾路署より警察醫檢視したるも既に腐爛し蛆虫發生し居り遺棄者不明なれば府廳に引渡し埋葬に附したり

加藤神社大祭

龍山加藤神社にては例年の通り九月二十四日午前十一時より秋季大祭典執行の由

秋季特別傳道

府内旭町二丁目日本メソヂスト京城教會にては大阪メソヂスト教會牧師赤澤元造氏を聘し左の通り秋季特別傳道會を催す由　▲二十日（土曜）午後八時『人生の基調』▲二十一日（日曜）午前十時『信仰生活の飛躍』午後八時『改造の活力』

庭球界の人々（一）

榮ある京城の庭球史

朝鮮最初の庭球大會に際し本社の寄贈したる優勝旗

京城の庭球界を回顧すると其創設期明治卅八年から既に十四年と云ふ永い歳月を閲してゐる、其間には種々記念すべき歴史と傳統とが尠くない、逐年發展して來た我が庭球界が今春來、朝鮮體育協會によつて統一され今夏は東京高商軍を迎へて撃破し更に東都の覇者早大軍に肉迫し此勁敵を惱まし得た事は確かに京城庭球史を飾るプライドである、記者は光榮ある我が京城庭球界の開拓勇士を月旦する前に先づ今日の此光輝を生み出した我が庭球界の歴史を述べて見たい、京城庭球界の創設は實に明治卅八年頃からである當時、瓦斯會社の武者君が曾て東京高商の大將として全國を風靡した腕前で盛んに京城庭球界を育成し指導したのである、今の高等女學校コートが其時代の唯一の練習場で茲で幼稚な一同が武者君を中心にして技を練り遂には仁川遠征なども試みる迄に進んだのである、未だ揺籃の時代であつたが然し此頃から庭球熱は全鮮一圓に勃興し初め、兒戲に類するやうな程度ではあつたが各地でも盛んに行はれた、斯うして遂に明治四十四年十月本社主催の朝鮮庭球大會が擧行された、朝鮮としては未曾有の快擧で壯烈な優勝旗爭奪の試合があり、時の總督寺内元帥執策の本社優勝旗は龍山鐵道軍の手に歸した、爾後庭球界は著るしい發達を遂げ四十五年京城ボーイス軍の結束が固り大學寺、都築、大出、龍見等の諸君が中堅になつて第三回の優勝戰を決行した

明日の休日を「何處へ」

茸狩も好い遠足も結構

所謂セル時候となつて旅行、遠足、郊外散歩に恰好の時が來た、永い間熱暑に苦しめられて心身共に疲れ切つて居た都會の人達も

金風爽か

に流れ渡る此頃になれば、徒らに室内に蟄居しては居られない、殊に京城では一月に李太王殿下の薨去あり次いで騷擾事件の勃發となり昌慶苑の閉鎖となり櫻谷交通遮斷となり諸種の催し物の禁止となり

歡樂の春

は何等京城の人達に樂しみを齎すことなく空しく過ぎて了つた、そこで此の秋は我々に取つて格別に親しみを覺ゆるのである、氣早い人達は前々週の日曜あたりから茸狩などに出掛けて居たが此頃では遊山者なゝは[illegible]

茸狩りで

賑はつて居る昌慶苑も漸く人足が多くなり、各學校等を始め登山遠足等に出掛る人も此の日曜あたりからと云ふ風である、兎に角明日の日曜は散歩時候に入つての第一日曜とも云ふべく、

天氣さへ

よければ市内では南山、漢陽、パゴダの三公園、昌慶苑、市外近郊では奬忠壇、清涼里、北漢山、麻浦等に一日を費すものも尠くないであらう

お寺と教會

日本基督教會（長谷川町）にては二十一日午前十時『社會的基督教』丹羽清次郎同午後八時『傳道說教』橋本金太郎▲京城組合教會（南米倉町）にては二十一日午前十時『ヨルダン河畔のヨハネ』古木牧師午後八時『法律生活の最後と宗教』辯護士切山篤太郎▲メソヂスト教會（旭町二丁目）は二十一日午前十時『信仰生活の飛躍』大阪教會赤澤牧師午後八時『改造の活力』同牧師▲南山本願寺（南山町）は二十日『宗教と道德』長崎開教師『新生の第一步』青森開教使同日曜學校は二十一日午前九時『再信に入る道』▲妙心寺提唱　後藤瑞巖老師平壤巡錫中に付休講

運動界

明日の野球戰

滿鐵對東洋協會

暑中休暇以來鳴を鎭めて居たる東洋協會は秋に入ると共に新鋭を蒐め猛烈なる元氣にて練習を始めたるが其陣容は此春に比し格別の變化なし

黒木　納　山口　鶴岡　倉田
石　鈴　加　山　和　眞　國　佐　平
投　捕　遊　一　二　三　右　中　左

滿鐵軍は小手調として廿一日午後一時より龍山鐵道公園に於て滿鐵軍と野球戰を擧行する由、滿鐵軍は法政の宮永を迎へ近く早大より千葉加へたれば其陣容頗る堅く來月十七日或は十九日早大の爲め遠征する由滿鐵軍の顔觸は

田島　井　葉　見　永　部　倶　千　島
林　鍋　駒　千　門多　宮　柳　猪　綱　松
投　捕　遊　一　二　三　右　中　左

老童庭球大會

體育協會主催の老童庭球大會は廿一日午前九時より明治町三井物產コートで開催さる、齊、森安兩士を筆頭に中老階級の接戰だけに滑稽味を帶びたる庭球戰を見せるならん

基督青年會

廿一日午後三時より基督教青年會にては庭球大會を開催し會員及び來賓の紅白勝負ある筈

三越對貨物課

廿一日午後五時より京中グラウンドに於て兩軍對抗野球戰擧行の筈

▲哈爾賓陳列館移轉　東京市麴町區内幸町の日露協會にては今般哈爾賓商品陳列館を哈爾賓市ザアゴナーヤ街武番地に移轉したりと

燈頃

▲師團司令部勤務の上田大尉は步兵科だけに射撃に妙を得てゐる殊に銃獵にかけては恐らく京龍間に於て右に出づるものはあるまいとの噂である▲何でも去年一日に鴫を百二十羽射止め去年一年間に羽箭鬪十二枚も新調したとの事▲この噂が廣まると師團の天狗連我も我もと獵銃を買込みを揃つてゐるが▲鳥の方でも大恐慌を來たし『今年は其の手に乘りませんよ』とごつてるか如何だか▲吉澤副官の如きは毎日獵銃をいぢり廻し『早く十月になれば好いなア』はちと慾が深過ぎる、報告終りッ

高橋盛大堂藥局試驗部創製

清腸（セイチヨウ）

最新良劑　高貴藥配合　くだりどめ

悪疫流行の兆あり　注意

恐るべきコレラ赤痢は今や各地に流行の兆あり實に寒心に堪へず

豫防法　少しにても下痢氣味なる時直ちに清腸を用ひ腸胃を強くし、くだりを止め跡の腹工合よく申分なし又しぼり氣味なる時は先づ堅實特製の頓服下劑を用ひ腸中の汚物を去り然る後清腸を用ふべし効能顯著なり

清腸定價　廿錢、五十錢、一圓

下劑定價　十錢、二十錢

類似藥あり必ず大印及清腸の文字に御注意を乞ふ

登錄商標

大阪　東京　本舖　高橋盛大堂藥局

各地到る處の藥店に販賣す

公告

一、京城府漢江通市街地[illegible]

右來九月二十五日午前十一時入札ス

希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ラルベシ

京城府

健胃消化錠

アナタの胃病にはマーゲン

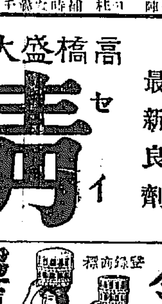
八木田藥學士御處方　島田博士御推獎

○産婆生徒募集　規則書要郵券

福岡市外茶屋町　福岡産婆養成所

金牌受領

男女頭髮用椿ポマード



毛を黒く長くつやを出し

赤毛くせ毛ぬけ毛折毛を防ぐ

本舖大阪堺筋中通一　三宅

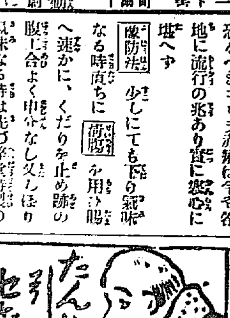
食糧界空前の大發明

時代要求　年拾割

東京市神田區柳原河岸三　宮園米磨及本舖

醫學士宮田[illegible]

たん咳と引風邪にセキドミン



父龜楠儀病氣の處養生不叶昨十九日午前十一時死去仕候間此段謹告候也

追而來廿二日午後二時自宅に於て葬儀相行候也

大正八年九月二十日

男　竹田靜雄

親族　大武納

親族總代　岡本礒吉

友人總代　小川龜太郎

連絡船上陸客

名）張眞翠、鹿之東、小楊澤之助、柴田定助、長谷川小せい、同吉、橋詰庄太郎、中内覺次郎、同陽子、鶴田美千代、二宮久吉、吉松周作、杉山ひさ、豐田彦一、やう、柏田忠藏、同八十子、同松くう、田村政太郎、同政代、御川村すゑ、[illegible]

東京現株（至急電報）[illegible]

京城米特電 [illegible]

仁川期米（二十日後場）[illegible]

大正[illegible]　晴一時曇

第五版

人に教唆されて日貨の排斥
哈爾賓送りの貨物は全部支那運送屋

中間に縣々操る策士の傀儡となり盛んに日貨排斥を高唱せるが長春に於ても無識無定見なる一部人士と志士の假面を被れる不逞支那人の煽動に依り付和雷同性に富たる彼等は昨年來屢々排日を高唱し本春は例の山東問題により師範學生中學生迄輕擧妄動して提唱國貨を鼓吹したるも之等一部妄民を除く外他地に比し邦商との關係其他特殊の地位にある一般商人は常に冷靜なる態度を持して看過し或は不可能なる無謀の擧を一笑に附するのみにて何時もお祭り騷ぎに終るのみなりしも其間邦人に對する暗流は甚だしく濃厚となり來れる風あり、此の點に就ては識者の等しく注目する處なるが過般上海方面より來れる一支那人が長春に於ける日支商人の關係を視て非常に慨歎し南滿各地方にては各地日貨同一致して日貨排斥に努力し居るに拘らず當地に於ては何等其事なきは無氣力も甚だしきものにて轉た痛嘆に堪へずと煽動的言辭を弄して盛んに慷慨悲憤したるより之に刺戟を受けたる北門外及附屬地の支那雜貨商二十餘名は十四日午後三時より北門外雜貨商新祥號方に集合し協議を遂げたる結果日貨排斥は諸種の事情より能はざるを以て先づ從來日本運送店の手により輸送を受けつゝありし哈爾賓行の荷物は爾後斷じて日本人に委ねず全部支那人により托送せんとの事を通し一般各商店に對し其の貨拔を求めたるが附屬地支那商務會に於ては壯豪々論して誤解の緩和に力め亦商民の大部分に於ても諸種の事情よりして實行不可能なるを知り左まで重大視し居らず邦人側亦又其意味に於て實現を豫期せず假りに一時實行さるゝにしても何時迄之が永續するかは論を俟たざる事なればこし何等特別の手段を講じ居らざるが兎に角支那商人の對日感情の惡傾向の一例として甚だ面白からざる現象と云ふべし（長春）

蒙古の馬市
二百年來の市場
大口は支那の軍隊へ

小庫倫は曾魯の東南二百支里新民の西北二百五十支里に位し有名なる喇嘛王の駐割地であつて明治四十一年熱河都統管轄の下に新に縣制を布き綏東縣と稱されたが蒙古人に關する一切の行政は喇嘛王の下に喇嘛僧より成る喇嘛官廳に所管されて居ると言ふ内蒙では

珍しい行政組織

タツタ一ツの中心地である此地は他族が固く鎖族主義を採つて所謂外敵を入れずと爲したる時代から夙くも開放して自由に居住せしめた結果漢人他族人の移住し來る者非常に多く爲めに小庫倫は其殷盛他に並ぶものなく二百年來東部内蒙古に於ける

著名な牛馬市場

として知られて居つたものである所が民國元年から毎年引續いての蒙匪亂や外蒙獨立騷ぎやら日に頻ける奧地の擾亂に小庫倫の生命であつた出撥子即ち廻り商人が致明傷的大打擊を受けてから全く衰運に傾き加ふるに白音太拉、閻營、鄭家屯等が日進の勢ひで繁盛を來して來た爲めに其の當時一年一度の馬市に此小庫倫に

集合する馬匹數

は無慮一萬頭以上に達した者が現在では漸く二三千頭に過ぎないといふ著しい減少を見たのであるが夫でも尚ほ内蒙に於ける大馬匹市場であるとしての位置は動かずに毎年盛んなる賣買取引が行はれて居るのである馬匹市場の開けるのは毎年舊七月十五日から八月一日迄に開市されたるが現今舊八月十五日以後十日間に開かれ此に集合する馬の產地は

多數であつたが

蒙匪擾亂以前はウチムチン、巴林、アルコルチン各旗方面のが最も多數であつたが現在は右の外奈曼旗、賓圖旗、翁牛特方面よりも多少宛來集し達顏罕旗よりも少からず來るあり之を旗別に表示せば左の如し

蔡漫四〇パーセント、賓圖旗一五パーセント、達顏罕一〇パーセント、アルコルテン札魯特一〇パーセント、翁牛特一〇、ウチムチン七〇パーセント、其他八パーセント

斯く來集する者

の、大部分は各地の出撥子が持ち來るものにて其餘は此地の商人にして奧地に出店を有するものであるが買ひ集め來るは極めて僅少なる數なれど蒙古人自らが此時期に馬匹を持ち來る數は實際は更に多數なれど其多くは彼等の取引商店に物品購入の代價として

交換するもの

なるが故に直接市場に出づるは其一部に過ぎないのである此等は商店より馬店の手を經て市場に出づるものなれば馬店は此開市に際しても直接奧地より購入し來るものは殆ど皆無にて其營合の割合左の如し

馬店三パーセント、出撥子六パーセント、漢人十パーセント

此の地の馬店は

馥興棧、裕昇店、全盛店等あるも現在は殆ど馥興棧のみにて取扱はれ居れり賣買手數料として馬店は賣主買主より一頭一圓宛の收入あり買主は更に買價の四分を稅局に納付す買主は附近鑛家の者少からざれど之等は一人二三頭を購入するに過ぎずして新民屯、奉天、開原等四五十頭を購入する者多く來り

其大部分を占む

るは奉天なる二十七八師にして前年は六七百頭を購入し昨年は四百餘頭のみなりしも毎年の大顧客となつて居る（哈爾賓）

大連近事
株式熱旺盛也

一時凄じき勢ひを以て大連人の人氣を鍾めたりし土地家屋熱も其後お株を株に奪はれて株熱は今が最中なり加ふるに金融業者が一齊に株抵當に對する貸出を引締め始めたるより、自然と株式方面の資金流用を土地家屋に求むる結果となり近時土地家屋の取引著しく增加の模樣なるが上記の狀況なれば相場は鮮ひ漸く落を免れず流石に一時天井知らずの盛況にありし土地家屋も時の勢ひに勝れず目下押步調を辿りつゝありといふ

本年の農作如何

滿洲農作物豐凶は單に滿洲經濟界に影響を與ふるに止まらず、内鮮兩地に於ける食糧問題にも多大の關係を有するより此程毋國當局より滿洲駐割官に對し狀況報告を徵し來りし由なりと、而して本年の農作は大切なる穫期に於て旱天打續きし爲め減收は到底免れざる可き見込なりと而して前年度滿洲より内鮮兩地へ移出されし粟其他雜穀類は約五千萬圓を算せしと

コレラに食療法
石探式應急法と豫防法

一吐瀉なした時は醫師の來る迄の當ざとして梅酢に生姜を卸したる絞り

千二百萬圓に
朝鮮輕鐵增資

朝鮮輕便鐵道株式會社に於ては去る十五日東京市麹町區有樂町帝國鐵道協會に於て臨時株主總會を開催したる結果資本金三百萬圓を一千二百萬圓に增加の件及び定款變更の件並に從來の朝鮮輕便鐵道株式會社を朝鮮中央鐵道株式會社と社名變更の件は何れも滿場異議なく可決したるを以て從來僅々三百萬圓の資本を以て經營し來りし會社を一躍一千二百萬圓の大資本を有する會社となしたるを以て今後同社の活動は期して待つべきものあらんと（大邱）

帽子（今秋の流行）

朝夕はもう涼しくなりました麥稈帽でもありますまい、これからは洋服なら帽子はそれにふさはしい鳥打です今秋はどんなものが流行するかといふに先づ目に付くのは型の變化で而も其の變化は新しいといふよりも寧ろ退化とでも云ひたい昔の型なのです二三年前から大流行を見た彼の緣の廻りの小高くなつたのは

今秋から廢つて

以前のやうにそれのない、下から子つと頭の上まで柔かくなつた物が流行します色は矢張茶の無地が主でそのほかに若向きとして、縞物も出ますツバは心持狹く一體に眞面な上品な型になつてゐます中折帽

色は矢張茶系統

リボンは共色の物で尤もこれは全部が主ですがセルやネルの時節に同じく茶で一段分色の薄い物やさうして鼠色の物が大分喜ばれるでせう形は山は低くツバ廣くなつてゐます總じて夏帽の傾向を追ふてゐます

百日咳新療法
肺炎の餘病併發

注射の新治療法が好い

百日咳は一年四季を通じて散在性に小兒を苦しめて居るが、夫れでも流行の上には動靜があるので、此の患者の多い時期と少い時期とある、然るに秋になつてから、ボツ〳〵

流行の 萌芽が現はれて來た此分では風が寒くなると益々患者は多くなると思はなければならぬ近頃はワクチンの注射をするが、予の經驗によつては百中とは申されない、然し斯ういふ治療法がある以上は之れを用ゐる方が可い、此れは

肩胛骨 の附近へ注射するので六回位は試みねばならぬ百日咳の苦しみは實に烈しいので親達や看護の者も咳嗽の苦しみを見ては實に堪まつたものでない肺臟の病症になると、中の空氣を吐き盡さねば

咳嗽は 止まないのであるから患者の苦しみは一通りでない、甚だしいのは鼻血が出る、顏面は赤くなる涙は出る、脫腸などを起すともある、斯ういふ咳嗽が晝夜絕間となく繰返されるから食た者は吐く、衰然として遂に無殘な者だ、弱はする

注射が 非常によく利くものであつて病勢の頓挫する場合もあるから、矢張り注射をするが良策である、熱は伴なはぬものであるけれど、入浴などは合せた方が宜い、萬一熱がある樣な場合には直ちに醫師に報告せねばならぬ、ナゼならば之は

餘病を 併發した證據で起る、肺炎などは兎角合併病として起り易いので困る、一家に百日咳の患者が出ると他の健康な子供に傳染し易いから患者は別室に隔離し、持つた玩具などは區別して置かないと感染の虞があるから注意するやうにしたい

釜山にても店員の安息日
各商組合續々決行す

釜山港にては本年以來各卸商者間に店員慰藉問題起りしが率先して糖粉業、綿布絲商、其他二三業者の團體休業を決行するに至り今回又々釜山賣人酒商組合にても月の十九日を各店員の公休日と定め一齊に休業し當日は商業學校長其他有志諸氏の講話を乞ふ事とし同時に同組合の酒類一切賣らぬ日と定めたるものなりと（釜山）

種の話

米國では普通の射的遊戯の代りに活動寫眞を應用したものが工夫された、獸、人、島、飛行機、軍隊、其他動いて居る物を射撃する事が出來るスクリーンは紙で出來てぐる〳〵廻轉するやうになつて居てスクリーンの背後には鐵板があり赤色光線がある、發射した彈丸がスクリーンを射拔くと背後の鐵板に當ると同時に電流が停つてスクリーンの回轉が止り其命中した孔から赤色光線が洩れると云ふ仕掛けで總て全米に大流行を及ぼすだらうと云ふ

米國では活動寫眞で學課を教へてゐる學校が現に二千校もあるさうだ

伯爵の海洋から百三十哩離れて海上に在つた汽船上で此の程六十四種の蛾が採取したが一番近い海岸から離れてゐる洋上で此れ程の蛾が採取したさうだ

▲米國の海軍ダニエル氏は汽船は近く一分間一哩の速力を出し得るやうになるだらうと語つたさうだ

東西南北

▼▲市場と一年の賣上▼▲ 全道市場の大なるは京城南大門の百七十萬圓、東大門の百廿八萬圓、次は大邱東西市場の廿七萬圓にして次は平南安州邑店市場の九十五萬圓なりと

▼▲釜山に製藥會社▼▲ 釜山の藥種商發起となり五十萬圓の朝鮮化學製藥株式會社を起したるが内地よりも募株多く又工場は牧島に設くべし

▼▲僚館内鮮人懇親會▼▲ 各地に内鮮人融和の目的にて懇親會の催あるは喜ばしき事なるが慶北慶館にても先頃僚館親和會を開き盛會なりし由

▼▲印刷所主人の詐欺▼▲ 平壤旭町印刷業植木俊作は他人の印を僞造して機械家屋を二重抵當に置き又外に巨額の金を詐取したる爲捕はる

▼▲金持の家へ强盜▼▲ 慶南昌原邑内の金成安といふ金持は現金一切を自宅に置き預入れ拆せざりし所十一强盜押し入り六千餘圓を奪ひ去る

商況

株式

東京株式（至急電報）

銘柄	二十日前場大引	前電比較
東株	四三五、〇〇	一三、五〇高
同新	四一三、五〇	一七、五〇高
鐘紡	一九九、一〇	三、一〇高
一新	一七六、九〇	二、二〇高
二新	一四五、一〇	三、八〇高

大阪株式（至急電報）

銘柄	十九日後場大引	二十日前場寄付
大株	三八七、四〇	三九五、一〇
同新	三七四、〇〇	三八二、五〇
郵船	二八五、一〇	二八七、〇〇
同新	一六一、一〇	一六四、三〇
商船	一九一、五〇	一九二、〇〇
同新	一六三、五〇	一六四、四〇
鐘紡	四〇九、一〇	四一四、九〇
同新	三九二、八〇	三九四、〇〇
東紡	二九二、四〇	三〇二、五〇
東新	一七六、四〇	一七七、九〇
堂米	一六九、〇〇	……
上取	一六八、〇〇	六六、四〇

京城現株（標準値段）

銘柄	拂込額（▲印賣買）	呼値（△印下落）
仁取	[illegible]	一五一、〇〇
朝郵	[illegible]	四一、〇〇
電興	[illegible]	二〇、五〇
皮革	[illegible]	二六、〇〇
東畜	[illegible]	一五、〇〇
朝紡	[illegible]	三三、〇〇
朝紙	[illegible]	三四、五〇
商銀	[illegible]	五八、〇〇
同新	[illegible]	一八、〇〇
滿毛	[illegible]	四二、〇〇
滿糖	[illegible]	三八、六〇
朝煙	[illegible]	▲三一、〇〇
輕鐵	[illegible]	六七、〇〇
鮮土	[illegible]	二三、八〇
東亞	[illegible]	四五、五〇
葉莨	[illegible]	三八、〇〇
仁倉	[illegible]	一六、五〇
製粉	[illegible]	一九、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
大阪商船	一五一、〇〇	一〇〇
横濱取引	一八二、〇〇	五〇〇
東株新	三六二、〇〇	一〇〇
殖產銀行	九九、〇〇	二七〇〇
仁川取引	一五二、〇〇	八〇〇
朝鮮煙草	三一、五〇	三五〇〇
日本麥酒	一五七、五〇	二〇〇
富士瓦斯新	七七、〇〇	二〇〇
鐘淵紡績	三八七、〇〇	一〇〇
大株新	三四五、〇〇	六〇〇
上海取引	六〇、〇〇	七〇〇
滿鐵二新	一四一、五〇	五〇〇
蒙古毛織	四二、五〇	[illegible]
東亞新	[illegible]	[illegible]
絹紡績	[illegible]	[illegible]
日本海運	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
鮮銀新	[illegible]	[illegible]
南滿製糖	[illegible]	[illegible]

朝煙益々高し

朝鮮煙草は東亞煙草に販賣を委託してより業績稍見るべきものあり殊に最近滿洲激增して晝夜兼行にて作業を續け居る狀態より推して今期は一割配當可能を豫想せらるゝに至り尙ほ同社が專賣制實施を共に有利の條件を以て買上げらるゝものとせば早晩拂込以上の價値を現はすならんとの見込みより昨今網まりの買物入り込みて三十一圓五十錢迄の商内を見るに至れるが後東京よりは更に二圓迄の買注文入り込みたりと

上海取引奔騰

上海取引株は漸に追證不納問題にて紛擾を惹起し居たるにも拘はらず右は商内の活況を語るものとして却つて株價に好影響を及ぼし殊に最近支那人仲買增加したる爲め業績益々顯著なるものありとして盛んに買上げ居たるが本日は六十六圓四千錢を入れ小十圓方の奔騰を告げたり從つて當地現物市況も頗に引締り既に六十圓の手合せ行はれ

東拓新株提供

今般大阪株式現物團の引受募集する東拓新株を最低プレミアム附にて提供す

御希望の方は株數に制限あり至急御申込あれ

申込證據金　壹株ニ付金五圓也

手數料　壹株ニ付金卅錢也

大正八年九月二十日

大阪野村商店代理店
有價證券現物問屋　田中株式店
京城本町二丁目　電話長三〇九三番

紡績株尚昂騰

紡績株は今半期の收益又豫想外に增加し今や增資するか他に何等かの方法を選びて處分するかにあらざれば社會上の問題を惹起せんとする域に達せると言はれ殊に最近の綿絲高の呼應を受け更に買氣を刺戟し東洋紡の如き遂に三百圓を拔き富士紡大日本紡鐘紡は成績樂觀に安値は保證せられつゝあるを以て高値は警戒せられつゝ東株高の刺戟に依り更に空前の高値を實現するならんとは

北濱だより

月初の一跳ね市場關係者を驚かした相場は中ダルミの後再び頭をもたげて奔騰振りを發揮し然も時月末に接近して居る關係上一般に警戒が去らないので早くも利喰の賣物となり反動安を實現した▲商網は八月中の綿絲は二百三十九圓で之れを七月に比すると三十七萬二千圓の增加ではあるが前年八月の七百二十萬三千圓と比較すれば約三分の一でしかない前年同期は尚戰時中であつたのだから現在の所成績のみは馬渡弱い氣のする之も今日では別に驚くべき程のものでないならず之れを以て他の事業會社の說をも及ぼすのは馬鹿考へ物だと云ふ

東株新舊四百圓

東京株式は昨二番立會より又復躍進を演じたるもの如く本日も比價は東株四百三十五圓前日に比し十三圓五十錢高を三十五錢を乗せ新東亦遂に四百圓を拔き三十七圓九十錢高となり一圓五十錢高となりし又滿鐵も優勢にして三圓三十錢高、新は二圓二十錢高と愈々秋高相場に踏み入りたる觀あり

殖銀更に昂騰

殖銀株は反落以來最近又復買氣再燃し株に内部よりの買物は必らず何等かの强材料を含み居るべしとせられ盲目的に人氣買を試むる者あり之れが爲めに昨電は九十八圓より百圓迄の手合せ二百七十枚ありたり又某店へは百五圓の入電あり後氣配更に高からん模樣なり

鮮銀新株優勢

鮮銀新株は昨入電は二百圓と入り舊株二百五十三圓を現じたり

株式風聞錄

此頃仁川の株界は一般好況の方であるが中に買氣は又復人氣を引立て賣方引締り見當に相當の一圓方の…立て買氣を帶し居るに付いて某當業者は小口の委託されて居るも更に賣物が無いと云ふ事に付いて是れは一過日來の暴落で小口の賣物一掃された結果にも由るならんが全くは今回新規申込の…

米況

東京期米特電

二十日前場　當限寄付　三十八圓丁度　中限寄付　三十七圓六十錢

	二十日前場	十九日後場
寄付	三七、〇一	三七、〇一
高値	……	三六、九〇
安値	……	三七、〇〇
止め	……	……

（仁川支局）

大阪期米特電

二十日前場　當限寄付　四十四圓八十六錢　中限寄付　四十四圓八十五錢

	二十日前場	十九日後場
寄付	三八、三〇	三八、〇九
高値	……	三八、三一
安値	……	三八、三一
止め	……	……

神戶期米特電

◎正米　二十一錢高

	二十日前場	十九日後場
寄附	三八、三〇	三八、〇九
高値	……	三八、三一
安値	……	三八、三二
止め	……	……

下關期米特電

◎正米三五十錢高

	二十日前場	十九日後場
寄付	三八、五四	三八、一五
高値	……	三八、三九
安値	……	三八、三九
止め	……	……

◎十九日前場（晴）

	當限	中限	先限
寄付	四〇、三〇	三九、三〇	三八、五〇
高値	四〇、〇〇	三九、〇〇	三八、五〇
安値	四〇、〇〇	三八、五〇	三七、八〇
止め	四〇、〇〇	三九、五〇	三八、七〇

仁川期米

二十日前場（寄高の跡投崩す）

今朝天候南の風強く各地入電なるも前日の買過ぎ反動の氣先大阪の止高を見て當初の逆襲を受け當出來ずの人氣の出來を見て高く寄付き▲第一節は大阪の止高を模し先限四十二圓五十錢と二十錢を跳ね高く寄付き仲せしが買方の手控に割込み後ズリ〳〵安の人氣に▲第二節は中限二十五錢より三十五錢と跳ね三十五錢を叩き買ひに六十二錢を喰ひ目先利喰を敢行し六十二錢と押し▲第三節は當中限一厘二十五錢先五十錢と崩れし見當で四十二錢まで押し戾しもし十錢まで手を崩しし▲第四節は寧ろ閑散にて中二十五錢と始め先五十錢より四十錢と上向せしが何くなく▲第五節は四十錢より六十錢引き十八錢と押し何分全般の人氣も重く四十六錢と押し八錢と

市場雜觀

稻作上最も大事の時季たる秋日和の變調に連れ人氣の動搖が激しいため前日の如き不自然の亂高下を演ずるので最近の相場は恰も弱氣自心が其居處を高むるかと思へば又强氣自心が之を壓へると云ふ樣な振合ひであるから賣買兩者と共に豫期の利益を見られぬのも尤もである▲市場の人氣は依然として阪地高に刺戟され押目待ちの買ひ念頭が放れぬが其割の仲力の鈍いのは▲賣際合の有力者が全部利拔きをしたらと賣方の有力者が雜平に何爲石と云ふ大玉を賣浴せたので自然買過ぎ反動の玉凭れと云ふ調子で誰れ買るとなく阪地の氣丈も無頓著に場面が崩れ高値を掴んだ目先師は嫌氣が刺して投げ出すから不自然の暴落を演じたのであるが其の鼻を味く切り廻した連中に利益を占められた譯であるが▲併し夫れも時されべきでおこる事に歸著するのであるが▲現下の仕手關係から觀察すれば有力者が殘つて居た丈賣方に有力者の手仕舞されたので人氣で買ひ煽る程玉凭れなりて其の反落は免れぬようにも有るが▲米價の大勢は未だ買居處が割安に有ると云ふ肝心の餘地の無いと限らぬ元來定期の正米が内地を通じて引締りを報じ不引合ひを唱へし鮮米も弗々で來たので餘程先見の明に通じた方なれば兎も角▲十二日迄は手數料位ひ備かる値段に買進んだ玄人筋は如何に人氣に向ふと云ふ正米師や從來の經驗を有する向は大勢を無視して賣ると云ふ事は絕對に有るまいと思はれるのであるが併し仁川の場は内地と違ひ一般に論し難きは非常に人氣が片寄りするので仕方なしに

場面重し

前日阪地高に呼應して破竹の勢ひを示せしが買際合一派の利喰ひと地場筋に場面遂に變りとなり當前場更に大阪高移りに目先買に九十六錢と堀ふりしか有力者の一派筋の賣崩しに高値掴みの嫌氣投けも加勢して四十錢の五十六丁方の暴落を演じ熱心弱氣と目さる▲⑦筋は正米の出盛より五十錢擱みに大利喰ひ殘したるより之により幾分の而み支へしも戾りは地場賣の利音にてマバラの、規々を誘ひ阪地の氣丈に拘はらず頭重く打止めたるが市場の狀態は昨前場の爆發買方第一戰の勝利となり買膽の一派は市場の買口旺勢に逆行して今前場より賣出動となり▲十錢擱みの場面を無視して人氣を壓迫し阪地高を無視して人氣を壓迫し防機見て賣崩しマバラの投げを喚びて其鼻を挫ひ途轉賣越し果して窓の如く相場を壓迫し第二の策戰を建てん方針なら人氣的に不測を叩ける丈け地方正米師の有力なる買物現はれん振合ひなれば大勢を無視しての賣壓迫は聊か危險といはざる可からず

福岡精麥所

京城岡崎町　電話長貳壹六四

二十日　本日　前場

	寄付	高値	安値	止め
	四〇、九〇	四〇、八〇	四〇、四〇	四〇、九〇

公定相場	一節	二節	三節	四節	五節
	四〇、九〇	四〇、七九	四〇、五四	四〇、四八	四〇、四九

◇値段　中限　四十二圓四十三錢　先限　四十二圓八十三錢

出來高　當限二千八百石　中限廿五萬九千四百石　先限

十九日出來五十四萬三千三百石

京城正米市場

京城本町二ノ九電話三〇五四番

肥料石灰精米石粉

大正石粉工業株式會社

仁川期米反落を演せしと雖内地正米の高報に荷主愈々賣控へ今朝は殆ど賣物らしき賣物なし米筋も强いて買進まんとする向なく弗々必要小口の商談ある のみなるが相場は昨日より三十錢高の見當にて地搗上物は四十圓四十錢唱へにて眼先中々手堅き成行なり

仁川正米市場

仁川正米市場は定期の亂高下に幾分人氣動搖せしが今朝は更に變化ある事なく午前中は賣買皆無の狀態なりしが昨午後は新義州三等合格四百叺四十二圓三十錢にて沙里院安井賣、カ武賣に商談纏まりしのみにて地玄米四十一圓三十錢見當を唱へ人氣變はらず

釜山正米市場

市場一齊に賣腰强く三十錢高にて三等神力四十二圓五十錢處にて二千五百叺商入あり大豆は頃日增加し買物潤澤賣控へにて三十錢安も早し京畿物十九圓八十錢見當清道神戶十三錢三厘見當にて三百叺宛の商ひ行はれたり

大豆商内閑散

大豆は一昨日來見送り氣惰となれるが龍山に於て十九圓六七錢處なれば移出口に引合ひの餘地あるが如く此邊多少望口ありと雖持主は變らず手放し躊躇の爲め商談更に纏まらず

支那粟荷嵩み

支那粟は週日ザリ安步調を辿り當城物は昨日唱へ十六圓五十錢見當に落込みしが今朝は二十三車の新規入荷ありしより荷嵩みの昨今更に氣配を惡化せり相場は一二十錢安の十六圓三四十錢處の呼聲なるも買氣不引立なり

綿布相物好調

大阪三品は昨後場米棉一四二十錢高當五百八十五圓八十錢先五百四十三圓九十錢綿布二錢十七圓二十五錢の高報を齎らしたるより仲力鈍ぶり勝なる當市中も地方弗々の注文と相俟つて品薄の現物は更に引締まり模樣を呈し相佑三エー票は五百五圓迄取引行はれ尙人氣强含みなりと雖先物に對しては何となく一段氣乘り薄く相場も十先の二十三圓七十錢見當を伸び惱み居れり

金物類混沌

鐵材及金物類は英米品を通じ大勢漸次軟調の傾きありと雖各本國に於ける勞動問題の影響は各製產能率に大打擊を與へ、米國ユーエス工場の如きは年内物の新規約定に應ずる事能はざるが如く且つ用途は米釘五六月積十四圓七十錢のもの十一月積十七圓二十錢亞鉛平板三十番六七月積二十七圓の物十二月積三十一圓米鐵線五六月積二十一圓五十錢の物十二月積二十三圓三十錢を報じ其他何れも一割乃至二割方の昂騰入電を移せるのみならず各本國に於ては同盟罷業相踵ぎ今日にては海陸運輸機關の停止狀態にあるなど延いて之等輸入品の大遲延は免かれ難き處なれば本邦市場は今後の在荷排底に至るべく併しながら本年六七月の頃に於ては過分の注文契約進みしより幸ひ入荷順なるを得ば逆に在荷の過剩となりて十一月前後より年末に亘り一崩落はあるべし

痔疾專門

京城久枝肛門病院

京城明治町二丁目（本町より入る中央）電話一一〇二番

優等清酒 賀茂鶴

廣島縣西條町　釀造元　賀茂鶴酒造株式會社

京城府錦路公平洞　發賣元　河野酒店　電話二〇八番

龍山元町二丁目　特約店　松屋商店　電話六六一番

支那靈藥 六神丸

虔脩 主治効能　鎮痛、興奮、強心、止瀉、解熱

五十粒　貳圓　百粒　參圓五十錢

發兌元　京城長谷川町七五　中華醫院藥局

特約店　京城本町二丁目　山岸天祐堂

同　三丁目　宮本千粒堂

南大門驛構内販賣所

平壤驛構内販賣所

TRADE MARK ICHIDOGWAN

下痢・腹痛・特効劑 腸胃全治 一道丸

大阪市東區安堂寺橋通四丁目 樋屋合資會社

大人用 小人用 二種

藥價 十錢・廿錢・五十錢

全國到ル處ノ藥店ニアリ

内科 眼科 小兒科

京城黄金町三丁目（門通電車停留所前）本田病院

院長 本田

附屬 京城肛門病院

肛門病、痔疾特種注射根治療法解說書入用の方は郵券十錢

電話二四四三番　振替京城三三八〇番

見本申込書は次回の廣告に掲載可仕候

到る處主要なる藥店及食料品店にて販賣す

瑞西ネツスル及アングロスヰス煉乳會社にての製造す

▲▲▲初秋―晝熱、夜寒く寢冷え―下痢

下痢には子ツスルミルクフード

子ツスルミルクフードは完全なる滋養食物なり

小兒 虛弱者 老寢者

世界を通じて刀圭界の御推奨を蒙れり

ネッスルミルクフード

NESTLÉ'S MILK FOOD

▼毎月壹日休業▲

今般組合員協議之上來る十月一日より實施仕候

釜山材木商組合

伊達騒動

第六席 小金井芦洲講演

静姫縁談の事

話し變つて爰に其當時天下の大老職を勤めて居る上州群馬郡厩橋の城主十五萬石酒井雅樂頭忠清、實に權勢並ぶ者もないので世人呼んで下馬將軍と噂をしたくらゐ、位は從四位官は少將迚つて俗に厩橋の少將とも是れを唱へる、一人の令孃があつて都と云ひます、妙齢二十一歳、醜美共に天の賜物と申しますが、身分の高い斯う云ふ方に不似合な實にご目と見られない醜婦で、加之ならず疱瘡に罹つて大菊石、疱瘡の餘毒で色が黒い、どうも幾ら身分が高くも權勢並ぶ者はなくとも二十一と云ふ妙齢でも、嫁に呉れろと云ふ者が一人もござりませぬ、されど子を有つた親の心は高きも卑きも皆一つで生れ付いでの此の不容色は親の身に取れば何の位不憫が彌増よか分かりませぬ、不具の子程可愛いと云ふ世の諺 忠『どうか良縁を尋ねて早く片附けてやりたいものだ』と彼方此方へ色々に手を廻してお頼みになる、スルと爰に其當時の御殿醫で岡本玄達といふ者があります、醫術の方は左のみ上手ではないが世才に長けて居る、諸方に交際弘く權門に媚び、從つて酒井の屋敷にも朝夕親しく出入をして居る、今日も今日とて雅樂頭忠清の傍に機嫌聞きに來て頻りにお髯の塵を拂つて居ると 忠『時に玄達其方は弘く諸方に出入を致すやうだがどうであらう、娘の縁を何方にか片附けたく思ふが、最早二十一歳、良縁のありもせば取り持をいたして呉れぬか』玄『ハヽア、恐れ入りましてございます』庸醫風情の私に斯様なことを仰せ聞けられまするは身の面目、家の冥加、隨分共に心掛けることでございませう、必ず／＼好き御縁を御取持を仕りまする』又と得難い好い機會だと玄達は大層喜んで行く先々で此の話をするんだが、どうも肝腎の玉が間抜けて悪いのですから話が思ふやうに運ばない、一日麻布飯尾の仙臺坂、伊達兵部少輔宗勝の屋敷へ參りまして世間の話に兵部の機嫌を取つて酒の相手を致して居りました、不圖思ひ出して 玄『エヘ、恐れながら兵部様に申上げます、』兵『何ぢや玄達』玄『エヘ、若殿様は最早御年頃に渡らせられます、何方からでも最早や御縁組を……』兵『イヤ、色々諸方から申込んで來る者がないでもないが帯に短し襷に長し、偖て是れと云ふ者が無い』玄『ハア左樣で……外ではございませんが如何でございませう、厩橋樣の御姫様、本年二十一歳に渡らせられます、丁度好き御縁組であらうかと私は心得ますが如何なもので』兵『ナニ厩橋樣……』玄『ハイ、厩橋樣でございます、御大老酒井雅樂頭樣』兵『痴けたことを申すな、玄達、釣合はぬは不縁の基、予は奥州岩井郡一の關に於て一萬石の小身、先方は侍從兼少將十五萬石、時めく勢ひの天下の大老職、世の人下馬將軍と申す位、迚も／＼釣合ぬことではないか』玄『お言葉ではございますが御當家樣御本家は奥羽二十六郡の大領主六十二萬石に渡らせられます、エヽお祿高には大違ひがございますが、お家柄に於きましては聊かも劣りましたことはございませぬ、是非お取持ちを致したう存じます』兵部少輔が大層喜んだのは今日本中に權勢並びなき酒井と縁組をして置きさへすれば何かにつけて仕合せと思つたから一遍は辭退をして見たけれども再應玄達に勧められて 兵『夫りや全くか』玄『何で拙者が偽りを申しましょう』兵『フム、然らば市正にも申し聞けて兎角の挨拶を致すであらう』玄『善は急げと申すことがございますから一刻も早く御相談あらせられますやうに』兵『好い／＼』御子息の市正宗高を呼んで此の話をすると之れも大層喜んで 市『是非……』と云ふことでございます、されば改めて岡本玄達へ右の周旋を頼んだ、笑壺に入つて喜んだのは玄達で改めて酒井に家此事を申し入れた。

安東縣の劇場

資本金五萬圓

株式會社安東劇場は創立委員の活動により株式募集の如き意外の好成績なれば最初の計畫たる資本金四萬圓を五萬圓と增資することなるべし愈々成立の上は本年度に於て基礎工事のみをなし明年解氷を待ちて本建築に著手する筈なりと

京城長谷川町鐵冷温泉前
内科 花柳科 痔疾科 一般外科
岩田病院
正五位勳三等 岩田末彦
入院隨意 (電話一六二〇番)

全北繭共同販賣

全北道管内各郡の秋蠶共同販賣は一兩日中に終了する由なるが今秋の蠶況を聞くに豫想外に惡く其他天候不順のため生育思はしからず各郡共收繭減少の見込なりと(全州)

穀類在庫數(仁川)

十六日現在仁川穀類在庫數は玄米四斗入二萬八千四百六十八叺五斗入二萬六千六百四十五叺白米四斗入三千六百八十三叺五斗入五百叺大豆一萬七千八百十叺小豆四百六十四叺小麥一萬二千八百七十三叺袋入五百二十叺大麥三百二十五叺袋入九袋糯二萬七千五百五十一俵粉米八百二十叺袋入八十袋粟一萬二千九百八十一俵糯米入四斗三百五十七叺五斗入八十叺なり

九月二十二日

(舊)閏七月廿八日 月曜日▲ひのとうし▲八白 暗剣うしとら東北▲佛滅▲危

▼八白▲念に念を入れて掛る日
▼九紫▲好き日にして普請移轉縁談起業其の他一切宜ろしき日
▼一白▲盛運の日にて何ごとか利益あるべく柔順なれば更に吉
▼二黒▲専門業者を別として投機に手を出すべからざる日なり
▼三碧▲何事か起り易き日なれども案外有力なる助けあるべし
▼四緑▲病氣と戸締を注意せよ
▼五黄▲利益に有付く日にして運氣好けれど病氣を注意すべし
▼六白▲存外のことに喜びごとある日凡ての事に用ゐて吉なり
▼七赤▲兎角縺りのつかぬ日

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話五九七番 有樂館改

當る九月十九日より特別映畫提供
○實寫 歐洲戰亂第二報
米國メトロ會社大傑作
探偵活劇『赤鼠』 全五巻
人間が生存を全ふするに苦しい記録を描いて行かねばならぬ罪悪と善意の争闘が我々の生活の凡てであろうと思ひます社會の暗黒面をバックとして色彩を鮮明に描寫されました一篇の探偵活劇
日活會社特作品
お伽漫畫『桃太郎』 全二巻
日活京都派本年度新規大撮影 尾上松之助中村扇太郎以下大一座出演
舊劇『勢力富五郎』 武百餘場 天保水滸傳
○天保年間一の大親分國定忠次の子分の中で數多に勢力富五郎を主人公として勢力富五郎外三十餘人の死傷者を出した笹川村の大喧嘩を發端に舊藩の最後から富五郎の鐵砲覗迄
▲今週より毎日正午開館 晝間正十二時より夜間六時卅分開演

大正館 日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三

當る九月十九日より選抜大寫眞提供
▲實寫『信越の雪』 長尺
米國エッサネー會社特作
ニコ活劇 デン君の大名譽
米國メトロピクチュアー會社大傑作
活劇『大威力』 全五巻
獨逸より米國に歸化せる一青年世界無比の火藥を發明せんとせしが資金缺乏困却せる際妙齢なる女客者の援助により完成せしが彼ば世界平和の爲其製法の機密を生國たる獨逸に知らせしか將又米國か
日活會社本年度新規撮影
舊劇『一心太助』 全四巻
松之助『唐犬權兵衛』『一心太助』伊達家の愛犬を撲ち殺し唐犬と同名を取りし魚屋渡世の權兵衛と義兄弟となりし一心太助は人の難儀を救ひ遂に幡隨院の親分に見込まれ乾分となり後横暴なる旗本水野十郎に押寄せ仇討したる侠客美談
毎月一日十五日日曜祭日晝夜開演

浪花館 京城明治町 電話二六〇

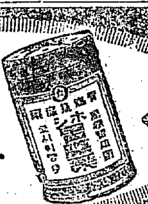
京阪落語大一座 日本チャプリン
當る九月十六日午後六時開演
▲昔はなし 桂都女助
▲落語音曲歌舞 桂都太郎
▲人情噺 桂文雀
▲落語音曲ステヽコ 桂小都雀
▲西洋舞 メーリ松
▲落語音曲歌舞 桂春子
▲民謡二調舞 柳家部美若
▲落語音曲滑稽浮る 三遊亭一圓
▲落語珍藝百出 桂枝三郎
▲落語扇子舞
▲娘義太夫 竹本東昇
▲人情笑話振事 桂都雀
▲寄席曲藝滑稽親玉 日本チャプリン
本興行は藝術の粋を集めし大一座殊に日本チャプリンの滑稽は抱腹絶倒

壽館 本町二丁目 電一〇五〇

當る九月廿日より
東京大阪歌舞伎 岩井半左衛門一座外廿餘名出演
初日演題
▲壽式三番叟引拔だんまわり
▲鬼一法眼三略の巻大藏卿
出演俳優(不順)△實川賞之助△岩井[illegible]

月やく
こまり不順の方は ぜひ一度いづみ屋へ
こまり又は不順にて頭痛がする のぼせるめまいがする其他工合の悪き方山師の薬に迷はずぜひ一度私方へ御出で下さい出来ない方は切手を入れて申込下されば飲み易くして不思議に効く妙藥御知らせす
大阪市東區東雲町停留場前
東京下谷西町二井上神社側
月經專門 いづみ屋

胃病には



ホシ胃腸藥

主効
▼消化不良 ▼食もたれ ▼溜飲吐瀉 ▼飲過食過 ▼胃腸カタル ▼悪酔宿酔 ▼悪心胸痞

定價 廿錢 五十錢 一圓

東京 星製藥株式會社

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話一〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
……卸値が安いです……
京城本町二丁目角
古城賛化堂
電話一〇二番 振替七三七番

木炭の半額であり頗る經濟な
卵形無煙煉炭
用途 火鉢、行火、煖爐用 定價一箱(凡四百個入)金壹圓參拾錢
石炭代用として他に比類なき頗る經濟な
ピッチ入卵形無煙煉炭
燃燒時間拾時間 一定の高熱を保つ
撫順炭、内地無煙塊炭、平壤無煙塊炭、卵形無煙煉炭、安州炭
朝鮮無煙炭株式會社京城特約販賣所
京城太平通一丁目電話七二七番
西崎商會
倉庫 南大門支店用 電話二三七番 電話一四七〇

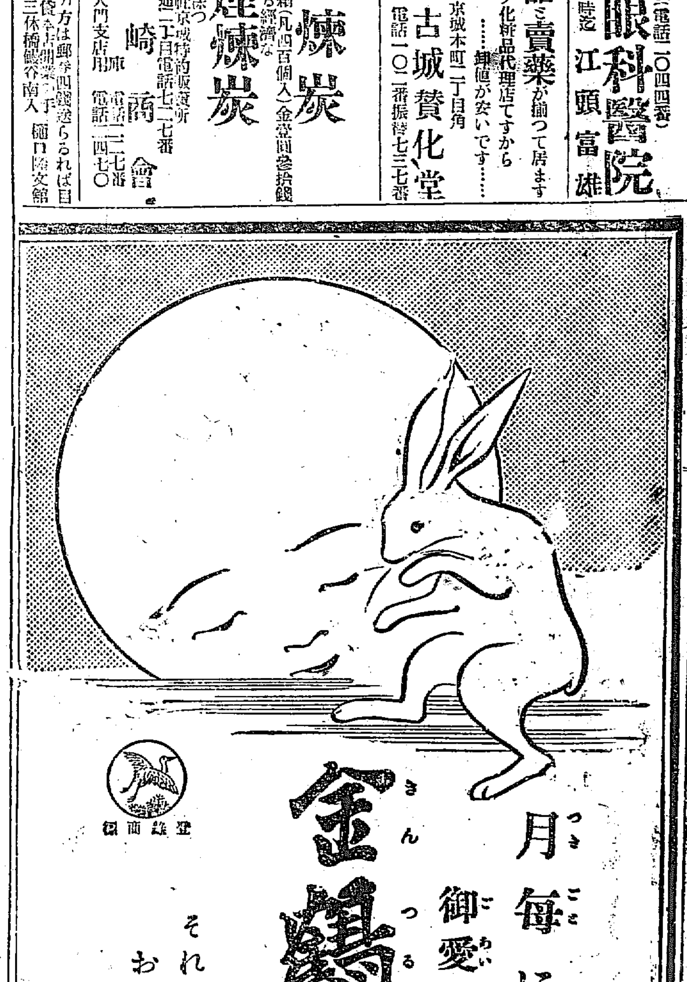
當本店新規開業希望の方は郵券四錢送らるれば目録並に一節實に儲かる食糧品手引書送呈 大阪市南區三休橋鰻谷南入 樋口隆文館

賣行飛ぶが如し

クラブ歯磨

内地市場を席捲し
世界市場に突進す

此のクラブ歯磨は新時代の要求を充す科學的歯磨の上乘として内外の需用益々激増し賣行宛ら飛ぶが如き盛況を呈しつゝあり



月毎に御愛用の増す。
金鶴香水
それも其筈 お月様さへ ころりとなさる
登録商標

京城日報　第五版　(日曜休刊)

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金六十五錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番

歐米海運界の現状

大阪支局　護山生

◎英佛を始めとし歐洲各國の海運界は戰爭のため破れる損害甚大にして之が恢復は到底一朝一夕の事にあらず英國政府は戰後に一箇年三百萬噸の造船計畫を樹てたるも勞働者の缺乏其他種々の事情のため之を百萬噸に減少するの餘儀なきに至れり

◎英國は自國の補充的造船に忙殺され未だ他國の註文を引受くるの暇なく其他佛國、伊國等も商船缺乏の困難を感じ殊に伊國の如き財政著しく窮乏し外國品輸入に對する支拂能力乏しき狀態に陥り彼のゼノア・アンサルト造船所の如き米國より鐵材購入を交渉せしも拒絶せられ造船工事不能の狀態に陥れり

◎佛伊兩國の經濟的活躍は當分期待する能はざるも獨り英國は迫に此間にありて經濟上の施設行動を怠らず阿波汽船會社の如き世界の洋上各方面の航路に就き着々實際策に腐心し就中英國濠洲間の直通航路即ち倫敦、古倫母、濠洲西部沿航のシドニー線の如きは頗る大規模の計畫にて現在其使用大型船數隻を建造しつゝあり

◎翻つて米國は戰時中建造を了へたる政府所有船を中堅とし戰前獨逸の勢力範圍たりし南米各市場に向つて盛んに活動し是非とも獨逸に代りて南米市場を掌握し更に進んで南北兩米の東海岸諸港を掩有すべく全力を傾注し居れば勢ひ米國所有船舶の大部分を擧げて南米に配し貿易市場開拓に努むる一面太西洋、歐洲及び東洋方面に驥足を伸ばし比律賓は勿論日本、支那、印度方面に勢力を扶植すべく既に西海岸に於てもシヤトル、油頭航路の開始を見るに至れり

◎米國の材料豐富と財力の彪大とは陸上に運輸業の繁忙に乘組海員を得ること頗る困難にして米政府の國有船拂下げの如きも其價格に對し未だ一人として拂下げに應ぜんとするの資本家なき狀態なれば米國の所有船舶も北航河上に關しては一大難關横たはり居り從つて目醒ましき活躍も疑問なれば本邦海運業者の歐米航業者を輕侮するは戒むべきも敢て恐怖するには及ばず大いに活動すべき好機會たるを闡明するに憚らざるなり

阿弗利加蕃地　(二)

米國神學博士　ラ□氏講演

土人の顏を正面に見ることの出來ない者は即ち何か疚しき心を持つた奴と見るのである。成る程彼等も文字こそ知らないがなか〳〵甘い智慧を持つて居ると云はねばならぬ。私は此の地方に於て傳道者として土人に接し又研究的に醫療をも行つた。此處は文明國の藥物を取扱ふ傍ら藥物學の研究をも行つた。此處は文明國人の餘り入り込まない地方では有り千古の秘密を藏する熱帶の大森林は到る處にある。私は是の大森林に分け入り猛獸の危險を冒しつゝ色々の珍らしい藥草の發見をしたことがある。土人の藥に關する智識は幼稚なものではあるが、併し、彼等は長い間の經驗に依つて森林に生ずる種々の植物を應用することを知り、彼等は彼等相當に救急藥草に關しては心得て居る。其の中には私等の參考となるものもあつた。例へば頭痛には或る草の莖を額顳の所へ貼る、手足に切り創でもした際にも創口へ草の葉を貼つて血を止めるのである。さて前にも云つた通り此邊には到る處大きな森林があつて私は曾て其一つを横斷しようとして七日七夜を山の中に暮した事があるが此森林の中には土人の作つた猛獸捕獲用の陷穽が所々に設けてある。云ふのは地面に大きな穴を掘り穴の底には銳く尖つた杭を隙間も無い程に植ゑ、時に依ると杭の尖端には毒藥を塗つてある、そうして其の上を巧に隱蔽してあるもので、土人以外の者は何れ程注意して居ても何處に設けてあるかを發見することは出來ない、況して象や豹等に判らう筈がないのである。私も曾て一度此の陷に引かゝり片足はズボッと穴の中へ踏み落して、危く猛獸の身代りにならうとしたが附添の者に救はれて漸く無事なるを得たことがある。此の森林地帶に棲息する野獸の中で一番油斷のならないのは象である。象と云ふ奴は獸類には似合はぬ位なか〳〵良い頭腦を持つて居る樣ではあるが是が却つて偶にならないので、時々大きな樹木を鼻で捲いて引倒したり引つこ抜いたり色々の惡戲をやる。是れ位ならまだ宜いが彼奴等は人間就中文化の進んだ人間のやることが片つ端しから癪に觸つてならないと見ねて時々人間を襲撃して來ることがある尤も象の怒るのも無理はないのでも文明が入り込んで來ると共に象は其處に住むことが出來なくなつてだん〳〵其の領地を狹められるから、象の攻撃の的となるのは多く鐵道であつて、線路を引倒し枕木を掘り返し進行中の汽車に衝突かゝつて來ることすらある。だから此の地方では夜間は汽車を運轉させないことになつて居る。

生別死別

服部硯月

第三　疑問の雲

監獄署前の差入屋には、午前から出迎への人々が集まつて、各々休憩所を拵へて陣取つてゐる。午後二時愈々出獄と云ふので、一同監獄署の門前に驅付けた。辛と人間一人通れる小門から一人宛出て來る。自分の迎へる人は今か今かと宛然汽車の改札口のやうに押し合ひ壓合ひしてゐる。

『誠に御無事で、此位目出度い事は御座いません』『どうも飛んでもない御災難で』と口々に自分の迎へる者を見付けたものは祝辭やら慰問やらを述べてゐる。『全體我等を疑ふなんて、今日の司法警察は全然零です』と迎ひに來た體も云はずに、中には獄吏を嘲弄するものもある。『皆さん、遠路の處を大きに御苦勞でした、一時は不幸に陷つても、幸ひに明法官が在つて靑天白日の身となりました。』と裁判官に感謝の意を表して居るものもある。

砥上は何番目かに出て來た。此日、砥上を迎へに來たのは、長男の晃と、越後から態々出京して來た芳三郎と、外に酒井、内田と云ふ文部省の屬官二人だけであつた。『阿父さん…………』晃は父の顏を見るや、唯一言呼びかけたが、後はもう云ひ得なかつた。芳三郎と屬官とは交る〴〵出獄を祝したが、砥上は唯『ありがたう』と簡單に述べた許り、伏眼勝に恰も屠所の羊の如く先頭に立つた芳三郎の後に附いて差入口に這入つた。日中、市中を通つて歸宅するのも面伏な爲め、芳三郎の計らひで日暮まで休息する事にして一同二階に通つた。他の連中は、或は腕車に或は馬車に乘じて揚々と引揚げた。中には出獄祝ひの爲め之れから料理屋に乘込むと云ふやうな連中も居た。

四人の通つた座敷は、往來に面した北向きの六疊の間で、床の間には石版摺の艦隊の畫が掛つてゐる。連日の梅雨は漸く晴れ、日あたりから晴れたけれども、眼に入る若葉も無く、僅に映るものとては向ふ側の監獄署の赤瓦屋ばかり。太陽の光線は斜に此の瓦を照して、大概一年中此室には太陽の光線は射さぬと云ふ。霖雨の爲めに襖の表は濕り、襖の開閉さへ重くるしい。『今日は御遠路の處を、態々御越下さいまして、誠に有り難う御座います、お蔭樣で父も漸く赦られる事になりました。之れは、私の親戚の者で、砥上芳三郎と申し今朝國元から上京した者で御座います、何分宜しくお願ひ申します。』芳三郎も言葉を添て是亦厚く感謝の意を表した。

『御挨拶で恐れ入ります、今朝の新聞で御斷宅と云ふ事を承知致しましたので、内田君と一緒に伺つた次第で御座います』『今日は誠にお目出度う御座います、素より今日あることは豫て期待して居りましたが、併し飛んでもない御災難で御座いました』

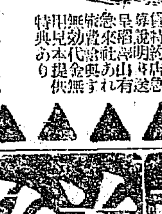
『御兩君には態々御越し下されて御厚意の段砥上は終生忘れません。併し御祝詞は未だ受くるには早過ぎます。之が無罪放免なら結構ですが、證據不十分と云つて見れば、眞の判決を一時猶豫されたも同じ事です。贈賄したのでないとか、或は私に代つて横領したものがあるとか、事實の眞相が分らない限りは僕にかゝる疑問の雲は晴れません』砥上は沈痛な口調で、斯う應へた。

鷄林竹枝

失名氏

爲報西風莫漫過。古槐黃葉滿庭多。人生不得恒年少。絲鬢紅顏奈老何。詩調
萬點西山鬟正肥。簑衣蒻笠雨霏々。如今不遇玄眞子。滿地江湖獨往歸。同上
春雨能來卽不來。朝雲已散我仍徊。何由更作巫山夢。訪芳裏壬爲住處。同上
柳春深處士山。柴桑村裏極淸閒。無絃琴作無聲調。略似知音舞白鷳。同上
犬縱何猶惆心。空山落夜一磬深。主人爲啓柴門見。明月遊天掃滿林。同上

前京城覆審法院判事
辯護士
法學士　切山篤太郎
京城南金町一丁目一五九番地
(三井物産株式會社向側)
電話長一八六九番

實力證明購求安全
貸取引
稻報
機も貸取引
大阪難波　殖産會社

特典あり

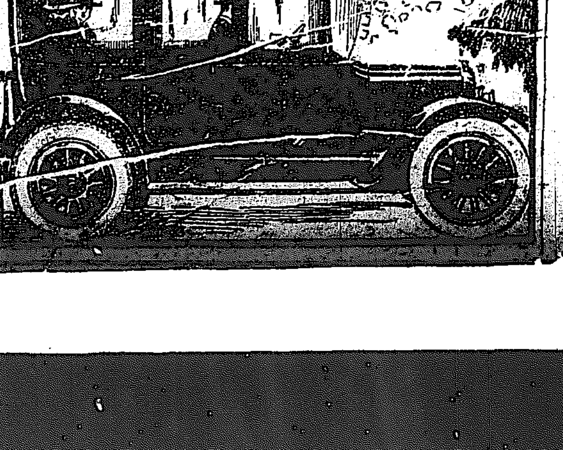
娛樂世界　十月特別号
幽靈と妖怪
江戸奇談　河童屋の由來
佛敎怪談　幽靈の助太刀
怪談　幽靈伍長
大勇士　清正の妖怪退治
怪談落語　茶漬幽靈
怪談　死んだ巡禮の娘
小倉怪談　おはや殺し
怪談落語　掛け物幽靈
青柳の小町娘
遊女の一念
不思議の歪
竈のお化
餓作りの系圖
愛宕山乘上
懸賞大
怪談　不思議の宿
怪談　津和野城
お杉殺し
怪談　薬鶏頭の畑
死の珊瑚珠
筋向ふの家
長篇小説　玉川御殿
岩陰の髑髏
鈴鹿峠雨の夕
鎮守樣の杜
若き女教師の死
捨られた富勇
記念の時計
京眞小説　十字の入墨
一片割月
定價金五十錢　郵稅二錢　東京神田　娛樂世界社

十月一日新學期開始◆東京蒲田
日本自動車學校
實習本位二ヶ月卒業◆運轉手技術者養成◆卒業生收入頗る多し

大正八年九月號
朝鮮彙報
詔書
◎口繪　新任總督、政務總監　元山築港工事現況　水原炸火器
前任總督及前任政務總監を送り新任總督及新任政務總監を迎ふ
輕便鐵道の現況
在來棉品種の改良
南洋視察談

求貸家
京城及龍山附近にて自動車の出入し得る工場向き及事務所向き可成家屋を望む工場と事務所は別々にても差支なし時節柄良否を不申上如何なるものにても歡迎す略圖を添へ御通知を乞ふ御世話人へは御禮致し候
京城府南山町二丁目　天眞樓内　鈴木

Overland
此れぞオバランドの本領たり
馬力最高
經費最底
◎乘合會社を發起せんとする人は
是非共一應オバランド車を研究あれ
○其車體堅牢、機關完全にして然も揮發油、潤滑油消費の他車に比し裏度に少量なるは當地使用者の悉く證明せらるゝ處たり
◎幌型、函型、乘合車
荷物車壹噸ヨリ參噸迄
各種在荷豐富
◎說明書、見積書、圖面
御申越次第無料呈送可仕候



秋季新學期開始
◎青年諸君！自宅に居乍ら中學在校同等の學力を得せしむる本會發行模範中學講義録を讀め
大日本模範中學會
◎入會の好時期！　此際入會に各種大特典提供
講義見本會則ハガキにて申込次第無代進呈
東京神田三崎町　大日本模範中學會

期米仲買店御披露
自己ノ爲メニ一切ノ思惑ヲ爲サズ絶對ナル御客本位、堅實ナル商方針ヲ以テ營業ノ本領トスル皆樣ヨリ御待乘ノマルアン仲買店ハ茲ニ新ニ生レ申候
本月二十二日(月曜日)ヲ以テ愈々蓋切開業ノ上御期待通リノ御滿足ヲ各位ニ供シ可申誠心努力仕可候間何卒多々益々御引立御用命ノ程奉願上候
大正八年九月二十日
株式會社仁川米豆取引所仲買人
マルアン　仲買店
仁川海岸町三丁目
電話　仁川ニンセン　受マルアン
長電話　九五二一　二五六三　七五二七番

時計寶石販賣　京城本町　五十嵐商店

營業品目錄
罐詰、海産物、乾物、雜穀、漬物各種、漆器、家具、清酒、醤油、銘茶、針金、金物、荒物、花莚、雨傘、綿香、細工物、土木用具、石、鳥鋼、紙類、服物、文具類、砥石、油、日鮮向陶磁器、洋濯石鹸、セメント、コールター、其他日鮮人向日用品一切
◎製品買入
龍山十組代理店　仁川新町　津田兄弟屋本店
京城明治町二丁目　津田兄弟屋支店
黄海道兼二浦　津田兄弟屋出張店

南阿聯邦批准

南阿聯邦上院は三十對五票を以て講和條約批准動議を可決し下院も亦是を可決せり(ケープタウン電報)

對勃條約交附

對勃講和條約は十七日勃國委員に交附さる可し(巴里電報)

シリア問題と英國

佛國諸新聞紙は英國は佛國のシリア委任統治を援助す可しと記載せり(巴里電報)

匈政府移轉計畫

ブダペスト市は外國軍隊の占領に歸したればフリードリッヒ內閣はスツールワイセンブルグを政府所在地並に國民議會々議地と爲さんと計畫し居れり(ブダペスト電報)

羅軍隊留置要求

講和會議は羅馬尼に對し匈牙利軍隊の改造中羅國軍隊を留置せんことを要求せり(巴里電報)

英兵撤退是認

最高講和會議は英兵の露國撤退を是認せり(巴里電報)

西伯利遣兵目的

米國陸軍卿は米國が西伯利に軍隊を派遣せる目的は鐵道保護に在るのみなりと述べたり(華盛頓電報)

オ政府危險狀態

佐藤前哈爾賓總領事談

佐藤前哈爾賓總領事は十九日午後八時三十分着列車にて來奉大和ホテルに入れり 其の談片に「セミヨノフは奉天訪問に於て成功せりと稱し居れり 或は然らんとも思はる、節あるを認むオムスク政府の現狀は極めて危險にして正に累卵の危きにありと云ふも過言にあらざるべし 殊に浦鹽の或る團體等が其の背後を衝かんとするの狀あれば此の方面には特に注意を要すべく英佛は既に援助の手を引き米亦その態度極めて鮮明を缺く爲め眞に窮境に在りといふべしされどイルクック方面には尚ほ相當の勢力を有し居れり 兎に角極東の現狀は帝國として特に注意を拂ふに値するものあり」と尚同氏は二十一日赤塚總領事と會見の上同日午後十時發歸東の豫定なり(奉天特電)

獨墺人規定有効

十八日總統令を以て對獨墺戰時狀態完全に解除されたるが宣戰の當時獨墺人民に對して規定されたる各種章程は廢止或は修正せられざる限り有効なる旨宣布されたり(北京電報)

南方委員決議

南方委員は王揖唐氏の上海に來るや王氏と會見せざるは勿論南方は一同直ちに上海を退去する事を非公式に決議せり(上海電報)

山東省米麥輸出禁止

濟南領事發某筋著電に依れば八月二十一日附布告三十一號を以て山東省米麥類の輸出禁止の旨發表せられたりと(東京電報)

張交渉に應ぜず

寬城子事件交渉開始期

十八日午後四時赤塚總領事は寬城子事件交渉の爲め張氏を訪ひたるも張氏側にて尚ほ交渉開始し難き理由ありと申出でたる爲め要領を得ずして引揚げたり、張氏は該事件發生の當時に遡りて其の責任無きを主張し居れるが要は北京の機會に於て巡閲使の官職を承認せしむると共に東三省總督の實權を掌握し文武兩面に其の勢威を張らんとするものゝ如し故に寬城子事件の交渉開始は或は其の解決後にあらざるかと觀測さる(奉天特電)

國庫證券借換

…十七日の官報にて告示の…利廻りは年六分七厘七毛餘に臨時國庫證券借換に對し大藏省…其利廻りは年利六分七…本證券を擔保とする… [illegible]

局員の惡事

全南靈光… 更に同十六日より七月十四日迄に取したる事發覺し目下靈光署に… [illegible]

大谷司令官凱旋

浦鹽埠頭の盛なる見送り

大谷軍司令官は十八日愈々凱旋することゝなり午前十時徒歩にて軍司令部出發各國文武代表に告別しキタイスカヤよりウエツランスカヤに至る沿道數十町間に堵列せる日、英、米、伊、露、チエックの各軍隊に答閲の禮を行ひ軍樂隊は奏樂して敬意を表し終つて自動車にて埠頭に向へり埠頭に至る沿道は在住官民學校生徒等堵列して見送りたるが軍司令官は一々之れに答禮しつゝ此の間を通過し小蒸汽船にて御用船小倉丸に乘船せり 斯くて十二時同船の拔錨するや露國參謀長、赤十字看護婦等は小蒸汽船に分乘して港口迄見送り其の中には德川赤十字副社長も同船したり雨後の秋晴は凱旋日和とも云ふべく搭乘船は港頭の波を蹴つて門司に向へり(浦鹽電報)

結局桝本氏か

勞働代表行惱

本田博士は未だ勞働代表たる事を承諾せず高野博士も承諾の見込なきため結局桝本氏代表たる可しと(東京特電)

兩局長任命

廿日左の通り任命有たり(東京特電)

任警務局長(一等) 赤池濃

任內務局長(二等) 大塚常三郎

勅語下賜

牧野男參內

牧野男は二十日午前十一時… と共に參內 天機奉伺の後講和會議に關し委曲伏奏したるに左の勅語を賜はり一同更に皇后陛下の御機嫌を奉伺し辱なき令旨を賜はりて退下せり(東京特電)

朕曩ニ卿ニ全權委員ヲ命シテ講和會議ニ列セシム今其ノ任務ヲ終ヘテ歸リ報ス卿外ニ在リシコト數月勵精刻苦折衝宜シキヲ得タリ朕深ク其ノ勞ヲ嘉ス

加藤大使出發

加藤大使は二十日午後八時東京驛發敦賀より西伯利に赴任せり(東京特電)

立花軍司令官

立花軍司令官は在滿部隊檢閱の爲め二十日午前八時奉天通過公主嶺に向ひたるが二十五日奉天來着二十六日在奉部隊檢閱二十七日安東縣に向ふ筈(奉天特電)

赤塚總領事消息

林長官の東上を見送り勞ら事務打合せのため旅順に向ひし赤塚總領事は二十一日朝歸奉の豫定なり(奉天特電)

更代軍隊來鮮

朝鮮守備更代の爲め第一師團步兵各聯隊より編成の一個大隊將校以下五百九十五名は廿日午前三時釜山入港檢疫を經て午後七時上陸を開始し驛前にて出發…

輕鐵新株公募

朝鮮輕便鐵道株式會社は曩に增資せる新株十八萬株中十二萬株は舊株一株に對し新株二株を割當て殘部六萬株は來月七日より大阪瑕物團引受の下に公募することに決定したり(東京特電)

對支財政援助

列國の諒解を求む

四國借款團は曩に報道せしが如く日英佛米四國間に於て交涉中なるが帝國政府は日本の自衞を主張し且つ之を熱心固執せるの爲め容易に解決せざるのみならず何れの日に解決し得るや未だ逆睹すべからざるの狀態に在り然るに一方

支那に於ては

南北和議未だ容易に成立すべき見込も立たず殊に財政は頗る窮迫して行政費に多大の不足を生ぜるのみならず軍隊に支拂ふべき給與金の如き既に三箇月も停滯して軍人中不平不滿を云ふもの多く或は之が爲めに匪徒の蜂起を見るやも圖られざるの形勢を呈せる故に支那有識者間には此際… 和平を維持する爲め是非列強の財政的援助を仰がざるべからず然れども英佛は到底斯かる餘裕無く米國は政界紛糾して… 今の所眞に支那の現狀を察し將來を慮かる者は先づ日本を措いて他に之を求む可らざれ

是非日本の援助

を借らざるべからずと云ふもの漸く多數を加へ支那の形勢は非常に變化し來れるが如し之に關しては勿論日支兩國間に別段の交涉ありたるに非されども帝國政府は支那の現狀に對して頗る憂慮を抱き若し此儘に放委し置かんか事態は愈々險惡に陷るやも知れざれば之を未然に防止し以て支那の平和を維持し進では南北の統一を確立するの方策を採るの必要ありとするの議出で閣議及び外交調査會に於ても大體之に同意したるものゝ如し、從つて其の當面の解決方法としては先づ財政的援助を爲すの必要あるも四國借款團は上記の如く未だ容易に成立すべくも非ず此は先づ從來の

借款形式に依り

て相當の資金を供與するを… 且つ便宜とするも目下四國借款團の交涉進行中なれば之を外觀して日本單り借款に應ずる能はざるの事情あれば故に帝國政府としては英米佛に對し支那の現狀より應急の措置を採るの必要あるべき旨を訴へて其の同意を求めんとするものゝ如く目下其の交涉中なりと云ふ其の結果如何に依りては帝國の對支政策に一大變化を來すやも知れざるべし

貯蓄預金成績

朝鮮殖產銀行にて九月一日より貯蓄預金を創始せし所其の後の成績如何と聞くに同行にては郵便貯金並に他銀行と競爭する如き所爲を避け… 從來開拓されざる方面に進出せんとしつゝある如く從つて何等特別勸誘の如きはなさゞれど同行の團體に人を派して貯蓄を勸誘し更にビラによつて其の宣傳に努め居れり 而して最近の成績を聞くに約八百口十數萬圓に達したるが右の預入者は內鮮人各半數で又右の內本店の取扱高は約一割にして地方大部分を占め是れ本店分の新規預入なると異なり地方は特別當座預金の乘換ある模樣なり尚ほ生產品の騰貴並に勞銀の昂上により鮮人側の所得の增加せる今日とて鮮人側の開拓進まば將來餘程の增加を來すべきものゝ如し

滿洲粟輸入量

總督府の獎勵滿鐵にて輸送便宜を與へ軍並に當業者の盡力により本年滿洲粟の朝鮮へ入荷は空前の巨量を算し一月以降八月末までの輸入は總量六十二萬石を算したるが尚ほ買付分少からざると續々輸入を見つゝあるにつき年內に八十萬石內外の輸入さるべしと

綿布商救濟 開始

鮮人綿布商の窮狀を救濟せんとする京城綿布同盟會は既に會員の捺印終りとなり之を銀行に示して近く納商より綿布の手形を徵し會員の名により手形の割引を求め漸次營業を開始すべし尚ほ事務所は… に置く筈なりと

鮮滿片々

三光丸就航

釜山澤山兄弟商會汽船三光丸は專ら關釜間の貨物船として使用される事になり十六日から運航に從事した滿鮮直通貨物の漸次增減せらるべしと云ふ(釜山)

輪移出不振

城津港に於ける米穀移出荷は閑散で運輸界不況であるが昨今虎疫發生に依り一層其の度を高め十六日出帆の宮崎丸は漸く總數量二百噸內外の積荷に過ぎない有樣で當分現狀持續の見込である(城津)

實施委員會流會

十七日午後… 公會堂で實施委員會を開き… 商業會議所で協議會を開き… 確定であつたが委員中支障あり流會となつた(平壤)

奧地農作概況

最近奧地から來城した某氏の談によれば豐山郡は旱害の爲め燕麥五割減粟二割稗二割減馬鈴薯二割減を示したが甲仁面新加里附近一帶は近年にない農作を見た甲山郡一圓も亦多少の旱害ある見込である同郡雲興面惠山面等は作況良好三水郡一圓も作況は概して良好である(城津)

新守備隊來期

全南の守備に任ずべき第一師團の臨時朝鮮派遣步兵第二大隊の大隊長以下十二名中隊長以下百五十六名は二十日釜山に上陸…

… 二十一日午後松汀里着一泊の上二十二日午後光州に來着すべし(光州)

慈惠院增築工事

光州慈惠醫院に於ける增築工事は本府の直營工事に屬し去る七月二十三日起工後目下工事進捗中で本年十一月中に竣工を告げる筈である(光州)

大連入船輻輳

… 大連港は昨今又々多數の入港船を見るに至つた殊に十八日は殆ど前例なく共同、大阪、原通等の六隻入港、入港豫定のもの十六隻にて一日に二十二隻の大輻輳は近來稀なる事である(大連)

教科書編纂

本年度總督府の教科書編纂事業は… [illegible] …普通學校用のものは殆ど全部之を… 唱歌の教科書を編纂し… 普通學校用のものに就ては紙質を選擇し頒價に多少の考案を加へ… [illegible]

水野總監登廳

兩三日來微恙にて籠り療養中なりし水野政務總監は二十日より登廳せり

芝生司令官陞敍

鎮海要港部司令官芝生少將は今回中將に陞敍されたり

拓鐵株引受

近く當局より許可を受け會社の創立を見んとする西鮮拓殖鐵道の株式二十萬株(一千萬圓)は內五萬株を東洋拓殖會社にて又五萬株を三菱にて引受け他の五萬株は發起人の持株となり殘餘の五萬株を一般公募株とすべく從つて公募株數は一萬若しくは二萬ならんと

下關より

下關支局 一記者

◎下關商業會議所にては家具改良獎勵の爲め十一月一日より向ふ一日間同市龜山神社境內に於て家具作品展覽會を開催すべく目下準備中なるが出品物は下關市に於て製作せしもの若くは居住者の考案に係るものに限り(一)木材家具一切及び附屬品(二)竹類家具一切及び同上の二種類にて審查の結果優秀なるものと認められたるものは汎く世間に紹介の勞を執ることゝし… 出品に對しては賞牌を呈す

◎下關商業會議所調査に依る八月中の同市內約四十種の物價は三月に比し約二割強の昂騰を示し… [illegible]

◎關釜聯絡船及虎疫流行地を警戒しつゝある… [illegible]

◎下關驛… 地下道工事は旅客の便を… [illegible]

元山聯絡費引上

元山商業會議所にては… 汚銀の昂騰に因り止むを得ず元山港に於ける… 左の如く引上ぐる旨同社東洋課より京管局へ通知ありたりと 雜貨一噸二圓二十錢同一才五錢五厘 … [illegible]

蒙古事情講演

二十日午後三時より府內日の出小學校に於て… 主催の講演會開き… 日本力行會… 蒙古旅行談… 日支關係と… 精神的結合の必要… 午後六時閉會したるが會員の盛況を呈したり

人事消息

▲小西春雄氏(鮮銀奉天支店長) 二十日入城不知火へ

▲久保田積藏氏(鮮銀哈爾賓支店長) 廿日入城同上

▲木原小平氏(鮮銀天津支店長) 廿日入城同上

▲松野孝業氏(鮮銀濟南支店長) 廿日入城同上

▲今井八十次氏(鮮銀旅順支店長) 廿日入城同上

▲樋口虎三氏(群山電氣會社社長) 廿日入城同上

▲岡中平壤高普校長 廿日退城

▲上田正秀氏(鮮銀元山支店長) 廿日入城山本へ

▲泉本治氏(鮮銀安東縣支店長) 廿日入城浦尾へ

▲後藤榮九氏(鮮銀吉林支店長) 廿日入城同上

▲阿部秀太郎氏(鮮銀大連支店長) 廿日入城同上

▲安田鮮銀東京支店外國部長 廿日夜釜山上陸十一時發列車にて來城

▲山下鮮銀副事 同上

▲チヤーン氏一行(米國富豪) 同

鳥瞰錄

▲京城方面の虎疫やゝ下火になつたかと思ふと滿洲に眞正ペストが而も二名まで出たさうだ▲此の春から流行性感冒のやれ虎疫のやれ天然痘のやれ猩紅熱のと絕えず脅かされてゐる▲加之に… 爆裂彈騷ぎが有て脅かすにも程がある… [illegible] …保險會社の… 此の勸誘は此方からやらかす

世渡之助先生新著 (三六版布裝特製三百頁 正價金壹圓 郵送料六錢)

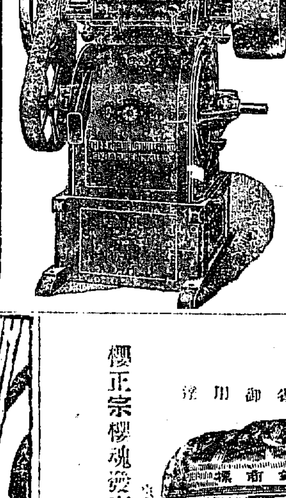
交際上手 斯の如き人は成功す

人に好かれ人に慕はる、は人間一生の成功の基である。本書は有らゆる社交の場合に於ける… 態度の使ひ分け、… 才の活用法より人心を看破し人心を收攬し相手を說破する秘訣其他日常心得べき服裝、挨拶、式辭演說及び諸遊戲に至るまで豐富なる古今の逸話實例を交へ全編を十二章百餘項目に分ち明快巧妙に詳述したる物なれば立身出世活殺自在の虎の巻なると同時に修養鍊磨の好科目となる青年男女必讀の良書なり尚ほ附錄として何人にも應用自在な類例なき觀相秘傳約八十頁を附し更に光彩を添ゆ▲後金…

東京麴町區平河町一の六 振替東京三四六六七 耕文堂

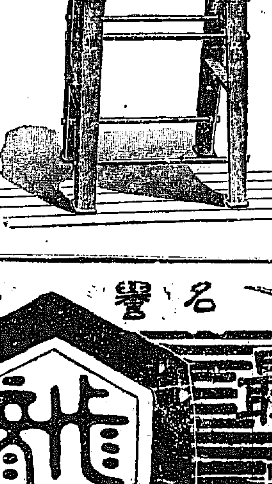
▲エンゲルバルグ
▲磨擦精米機

(第壹號型) 磨キ節台

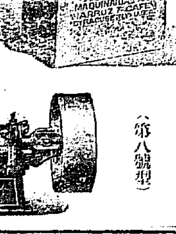


製作堅牢にして成績優良なるは世既に定評あり今回輸入中大小型精米機目下多數入津 說明書御申越次第郵呈ス

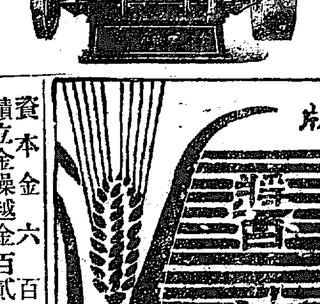
(第貳號型)



(第四號型)



(第八號型)



今回大小型機用品附屬品及磨擦機用船來エメリ、セメント、クロライト三種多數著荷仕候間何卒多少ニ不拘御用命ノ程偏ニ奉願上候

米國紐育州シラキウ市 エンゲルバルグ精穀機械會社 東洋總代理店

京城南大門通五丁目十九番地

曾我商店京城出張所 電話長貳壹六八番

本店 東京市芝區柴井町拾八番地

資本金 六百萬圓
積立金操越金 百貳拾五萬圓

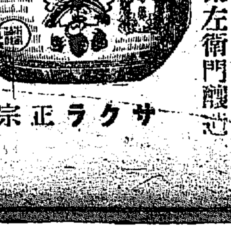
株式會社 十八銀行京城支店

同 新龍山支店

同 龍山出張所

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

宮內省御用達



サクラ正宗

兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造

櫻正宗櫻魂發賣元 山邑京城支店 京城明治町二丁目

日之出印便利瓦

東京神田小川町 日本建築用製瓦株式會社 ▼見本付カタログ進呈▲

營業品項目

一、アスベスト板 其他

一、アスベスト絲石綿加工品各種

朝鮮石綿礦業所

礦山 忠淸北道…

所在 群山港錦町十二番地

下關期米特電

[illegible]

散々虐待した揚句 豚饅頭の御馳走

突然猛烈な一齊射撃 漸く魔の手を逃れる

馬賊に擄はれた 猫神父はまだ氣の毒にも人質に

近藤氏遭難談（續）

斃鑿を施くとは眞に此の時の隊長の面貌を形容する言葉であらう。朴會長と猫神父の兩人は撲ち殺されむ許りに虐待されて、午後三時部下の馬賊は

隊長の命を 奉じて山を下り民家へ襲うて豚三頭を徴發して來た。又一方は流れを下つて來る筏を止め筏夫を脅かして麥粉を奪ひ、麥粉と豚とで慰らしくも豚饅頭を作り一同に振舞うた。内分も食はされたが朴と猫とは愈々殺さるゝ時期が來たので顔色益々蒼白くなり饅頭に手を著けきらなかつた。不安な夜は明けて十九日となつた。早朝兩人は引き出されて往つた

愈々別れか と思ふと涙も出ない到頭二人は銃殺か彼等か、彼等が死ねば俺も生きては居らぬ。と心竊に覺悟して居ると、二人は山の上へ／＼と引立てられスゴ／＼と伸いて行く其の憐れさ、私は茫然其の影を目送し伸び上り伸び上つて覗て居ると不思議や其の行手の山陰から突然猛烈な一齊射撃が始まつた。今まで影も形も見せなかつた聯軍兵が

一中隊許り 躍り出して撃つは／＼三四分間に何千發撃つたか分らない程撃ち出した。其處にも此處にも馬賊がバタ／＼仆れ出し隠るゝ奴逃ぐる奴相衝突してゴロ／＼打ッ倒れた。私は彈が危いので凹地々々を辿つて往つて隠れて居ると馬賊が降伏の表示をしたと見えて忽ち銃聲が止んだ。官兵が

谷を隔て 大聲で呶鳴り合つて居つたが軍使を出すことになり中央の谷で會見することになつた。馬賊は武裝し、官兵は素手で會合し約半日に亘り私の體に就いて談議したらしい。其の日の夕方私は馬賊に警衛せられつゝ中央地點に出で官兵に引渡され全く無條件で安全なる地位に復つて來た。

馬賊數百名 の絶對的崇拜の的となつて居る頭目修德山も此の時だけは、餘りに突然に退屈し切つて山を

上に下にと驅け廻るのみであつた。官兵の彈に馬賊がバタ／＼仆れた時だけは實に痛快で生れて初めての愉快であつた。それで私は其の日から官兵の厚い待遇を受けて廿六日夜無事晴子に辿り付くことを得た。

××××

たゞ森林中 を廻り廻つて日の暮れた處に寝るといふに過ぎないのには驚いた又食事は實に簡單なもので徴發又は强奪して來た粟（黍）稗玉蜀黍を飯に炊くのでなく、煮立つた奴を所謂粥といふ奴で、多くの場合彼等は山の中に居るから

彈は山の下の民家に炊かせるので之を山上に運搬する容器がないから、豚に

餌を遣る桶 や丸太をくつた容器に入れて運んで來る其の穢いこと言語に絶して居る食事は如何に空腹でもつても豚の臭いで咽喉を通らなかつたが後には其も美味く食へるやうになつた。人質中の猫神父は不潔が肉弱の處へ夜なし峻嶮な山道を行軍させられ疲れ果て、食事も攝らないので歩行も充分で無かつた其れが爲め今回私は然し救助されたが猫神父は

戰爭中逃亡 し其の翌日官軍が猫神父は逃げ後れて今に猶獨り捕へられて居る昨日修德山は猫神父に手紙を送り『猫神父は二千圓にでも三千圓にでも賣つて還るから金を届けろ』と相變らず脅迫して來たが一鮮人の爲めに討伐隊を向けることも出來ず、八道溝の天主教會では信者を集め醵金方の相談中である。何れ從つて來るであらう。（終）

隠れたる功勞者

技術に傑出した故山内中將

＝某海軍將官談

薨去せる山内男

十九日午前四時麹町區下大井町の別莊で突然薨去せられた從三位勲一等海軍中將山内萬壽治男は廣島縣人山内仁右衛門氏の二男、萬延元年三月生であるから今年丁度六十歳である、海軍兵學校の出身で明治十五年齋藤大將などと同時に海軍少尉に任ぜられ、同十七年海軍省から

海外留學生 を派遣した際選拔されて齋藤男は米國に山内男は佛、獨二箇國に留學を命ぜられた、歸朝後は海軍々令部出仕、呉造兵廠兼海軍技術會議々員、造兵監督官、呉鎮守府司令長官等の要職に歴補し順調に累進して卅八年十一月には遂に海軍中將に昇つた男は軍人の傑出した者であつた、性質は

極めて温雅 な同情心の強い質で、其處周密の中に

揚こした處があつて能く下に慕はれ先輩同僚にも敬愛せられて居た。戰略家政治家と云ふ方面ではなかつたけれど、事務家とも謂ふ可く殊に技術方面にかけては當時海軍部内の第一人者であつた、其奥在任時代に於ける

功績は今日 に至るも海軍部内に嘖々たる好評を存して居るに徴しても奈何ばかり偉大であつたかが推測出來る。日露戰役當時我海軍が敵艦隊を撃滅し又旅順の攻略に多大の勳功を現はしたのも、軍器火藥其他の軍需品の優秀であつたが爲である、其第一の功勞者、隠れたる

主なる一人 であつた後方の殊勳者は山内男が

アーマア製作に於ける功績も沒す可からざる一つである、明治四十年には其功勞により功二級金鵄勲章を賜り特に華族に列して男爵を授けられた、四十三年豫備役に編入されたが直ちに日本製鋼所長に選任せられ後室蘭の日本製鋼所重役に擧げられた、晩年猶も軍需品製作問題に就して世論囂々たる時價値の極一切の公職を擲つて大井の別莊に引籠り悠々閑日月の臨遁生活を送つて居られたが遂に其逝に逝かれたのは返す／＼も哀惜の情に堪へぬ

陽天丸坐礁

濃霧の爲め 宍蘭冲にて

大阪商船會社所屬船陽天丸（一三五五噸）は濃霧の爲め室蘭沖にて坐礁せり（東京電話）

野村大佐講演の盛況

京城中の野村海軍大佐の講演は豫報の通り廿日午後二時より南山町高等女學校講堂で催された。演題は「平和會議の一斑」と一讀に記されたが大佐が牧野全權使に隨ふて親くベルサイユ宮殿内の講和會議に臨まれただけに一語又一語は講和會議場を彷彿せしむるの觀があつたので聽衆は水を打つたように聞き惚れて居た午後三時四十分講演が終つた然し新聞の時間表に誤りがあつたので四時からと思ひ込んで閉會後來場した人達が尠くなかつたので特に大佐に懇請して四時より再び講演を乞ふた所之れも第一回に劣らず大盛況で午後五時二十分閉會した

水源地附近の檢病調査

京城鐡道第三部にては時節柄水源地附近の檢病的戸口調査を爲すなるが同時に漢江沿岸には細心の注意を以て巡視せしむと云ふ

仁川の爆彈騒

飛んだ災難

二十日午後零時三十分頃仁川府町十五番地空屋前に於て一大音響と共に一名の婦人が其場に倒れたる騒ぎに素破爆彈破裂と近所の者驅け付け傷者を介抱するが右婦人は宮町三十八番地熊本縣人太郎方フチエ（三〇）にして屋外に出でんとする時爆發物を踏みつけたる由にて右爆發物は空屋に引越の爲掃除を濟まし捕獲中のものにして負傷の程度は輕微なりと云ふ（仁川電話）

電車事故多し

飛乘飛降りは禁物

本年の電車事故が非常に多く八月中の事故數は輕傷七名重傷二名死亡一名九月は十五日迄に重傷一名輕傷五名と云ふ數字を示して居る、警務課では最近の如く事故の多い事は今迄前例がないと云つてる、尤も夏は四季の中でも一番事故が多い時であるが近頃の負傷者の多くは飛乘飛降に原因して比較的運轉手車掌の過失は少ないらしい元來鮮人等は飛乘り飛降りを名譽とでも心得て居るのか用があつても飛出したてのものでも盛んに行くので負傷する者が多い兎角電車の乘降客は充分注意すべきであつて自分の不注意からでは負傷したのでなく他にまで迷惑をかけねばならぬ電車課では充分飛び乘り飛降りは嚴戒する機會に取締る筈だそうである

川崎造船罷業

尚ほ繼續す

川崎造船所の職工罷業は尚繼續しつゝあり（東京電話）

情婦を斬つて自殺を遂ぐ

支那人の戀

安東縣六道溝滿腰味料理店にて支那人劉宗（三）は豫て戀慕を通じ居たる支那人張何吏と二十日午前九時五十分頃同家にて口論の始め劉は豫て隠し持ちたる菜切庖丁を以て張に斬り付け倒れたるを見て即死したるものと察し其の咽喉部に斬り込み己が頸動脈及び腹部に突き入れ即死を遂げたるが一方被害者は鐵病院に收容加療中なるも生命危篤なり（安東縣特電）

越後丸は命令違反

自分勝手に行動した 船長は懲罰される

朝鮮郵船所屬越後丸の命令違反事件は近來になき怪事實にして元山地方は素より甚く京城市民を脅すと尋常ならざるもの有り右につき阪中衛生課長は語る△事件其ものは左程重大と云ふには非ざるもその影響するところは實に計り知るべからざるものあり初め越後丸は虎列拉流行地たる

浦鹽を發 し六日清津入港の際は既に船内四名の患者有り依つて制規の手續きを行ひ停船期間滿了と共に城津に向へるが此時又も船中に疑はしき患者あるを見し同地は檢疫設備不完全の爲直に清津に回航し檢疫を受くべきの命令を發したるに船は此の命令を無視し十五日元山に入港せり然るに果然同船には七名の鮮人患者と

死體一個 あり取敢ず死體の處置を爲すと共に患者の全部は避病舍に收容し更に内地人六名支那人四名の乘客は隔離所に收容し鮮人三十名は同船内に隔離の處置を爲し其後警務局の命に依りて又隔離所に收容したるが此間遺憾に堪へざるは右患者中の一名が苦悶に堪へずして海中に投身せることにしてそれかあらぬか十八日に至り元山漁船内に新患者二名の發生を見たるは

た虎疫の發生を見たるにつき或は投身患者の病毒に依りて撒布せるものなるや否や判然とせざるも越後丸にして此命令を遵奉せば少くも元山港内の衛生は保たれ甚しき害を受けずして止みたるべしと云々因に越後丸船長は傳染病豫防令に依り嚴罰に處せらるべし

申譯なし

此上蔓延させぬ爲極力防疫せん

朝鮮郵船當局者談

我郵船今回の災厄より他の乘客及び各地に一方ならざる不安と迷惑とを及ぼせしは誠に恐縮に堪へざる所なり同船は清津、城津、元山の三港に入港前既に陸上にも虎疫患者發生の報あるに同船のため

更に蔓延 の素地を作らざる樣切望す。尤も船舶内の虎疫は上陸前後に全員を收容防疫するを得るを以て市内に發生したる場合に比し危險を及ぼす程度甚だしからざるものなるにも拘らず遂に一名の患者苦悶に堪へずして海中に投じて自殺せしは元山市民及び地方漁民に及ぼす不安迷惑を察するに餘りあり本社は死に船にて

消毒藥材

等充分準備

浦鹽中の乘客船員に對し稍安の方法を講じ乘客の食事は給を具て之を支給し船内に消毒藥材を準備して元山出港直前之を熟覧し隔離の處置を執らしむることゝし尚ほ本店よりは地方防疫官中へ清津に千圓城津元山へ千圓を寄附すべく夫々代理店へ通命せり

所有船は 幸ひにして未だ虎疫に襲はるゝことなく乘客の健康には充分留意し殊に消毒方面に於ては醫師の確實なる診斷書を所有するものに非ざれば乘船せしめざることゝせり

清津虎疫蔓延

清津の虎列拉患者は十九日までに二十二名に上り尙ほ益々蔓延の兆あり市民狼狽甚だしく商況不振なる爲し成北道内を通じて虎疫患者は初發以來約百名の多きに達し其の大部分は死亡せり（清津特電）

虎疫患者か

又も車中に發生 十九日午前八時半新義州發南行第二列車に平壌驛より乘車した南大門驛行三等客なる鮮婦人は開城驛著前より疑似症状を呈し危險なるより患者及同乘旅客七十六名は開城驛著と同時に下車せしめ隔離所へ收容せられたりと

浦鹽の鮮人續々避難す

危險な國境

浦鹽に發生したる虎疫は其の猛烈に蔓延しつゝある爲め在留鮮人の避難者は爭ふて船若くは陸路より成北各地に入り込み來るもの多く北鮮の國境は虎疫患者を出し居るもの如く地帶は正に危險な狀態に陷り居れり（元山特電）

愈漁船檢疫

近日から始められむ

十九日元山の漁船に虎疫疑似患者二名及び三湖に七名發生内三名の死亡者を見るに至れるより警務當局に於ては此際漁船檢疫を施行すべく既に準備成り居れるを以て近日中より開始すべしと（元山特電）

元山署長辯ず

越後丸

越後丸乘客三名が元山を脱して京城に入込みたりとの新聞記事は間違ひにて右船客は清津にて上陸し五日間隔離されたる後清津より輸船元山を經て入城せしものなりと元山警察署長は語れり

柔道大會期日

議定

朝鮮支部の柔道大會は來る十二日開催の筈なりしも都合に依り十月五日に繰上げたり當日は來賓多數に上るべきに付北門前警察官講習所道場を特に借用する筈

洋畫展覧會

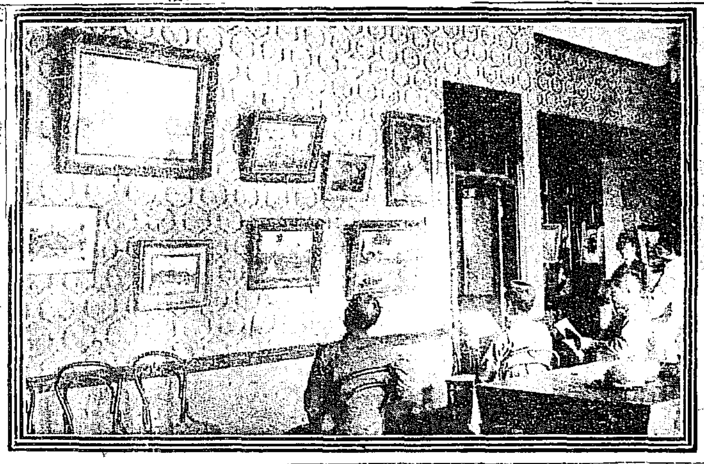
第二回

洋畫同志會は二十一日より二十三日迄三日間南大門通一丁目朝鮮生命保險會社樓上に於て開催の筈

傳染病

和泉町一〇二番地先…（四七）旭町二丁目一五八番地小泉井熊二（三〇）は赤痢にて田中丸病院へ▲榮町洞二三八四番地小野山正三（六〇）花園町一三七番地坂田方江頭…（二二）は十八日赤痢にて順化院へ▲本町二丁目三一番地永田正九（…）は十九日腸チブスにて總督府醫院へ收容せり

洋畫同志會の展覧會



彼岸會

▲本能寺布教所（本町四丁目）廿四日の彼岸中日午後一時より嚴肅の法要を修行し如月譜師の法話ある筈にて同寺にて寺中の總代の後嗣參拜の事▲日蓮宗護國寺（旭町三丁目）廿一日より廿七日まで彼岸會執行廿四日（中日）午後二時より法界大施餓鬼會、後修す初、中、結三夜には逮夜法要あり▲本派本願寺（若草町）例年の如く彼岸會を執行し毎日午前十一時及び午後一時より二回各開教使の說教ある筈

演藝

▲壽館 二十日より東京大阪歌舞伎合同…一座にて開演二十、二十一兩日…

臨券條件有利

經濟の親玉 新時代の要求に應じた 顧客の利益 質 流 マント トンビ オーバ外套 星谷廣城 廣振洋行

角形石鹼 九祖

浦本工場 京城 電話二〇九四番

京日案内

傳染病 英語通譯 内地人雇員募集 光化門郵便局

ほねつぎ 柔術道場

御下宿 三好館

恩給立替 西村商會

社員大募集

オルガン 杉野樂器店

代診書生募集 飯塚齒科醫院

琳玉糸製造販賣

讓占

記者採用 京城新聞社

求貸家 天眞樓内鈴木

味の素をお使ひなさい 美味しいお料理が手輕に出來ます

吸物に味の素（碗と湯さへあれば即座に味よく揃へられます）

酢の物に味の素（酢の物にかける花鰹より味も體裁もよく）

お酒に味の素（苦味辛味を消して灘の生一本程に飲めます）

煮物に味の素（を入れゝば鰹節が要らない程味がよくなります）

醬油に味の素（さしみの醬油に加へれば驚く程味がよろしく）

寄せ物に味の素（砂糖や鹽で味を附ける時少々入れて御覽なさい）

和へ物に味の素（和へ物の味附には中分のない味の素）

洋食に味の素（スープやソースの中に入れゝば良風味百倍す）

東京京橋區 … 鈴木商店

EUKIRIN

神經衰弱特效 ユーキリン

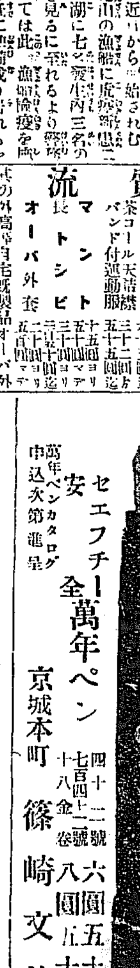
本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱。陰萎。營養不良。結核諸症。腺病。重病回復期ニ適ス

本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ

粉末 二五瓦入 金七拾五錢 錠劑 百錠入 金八拾錢

說明書アリ進呈ス＝各地有名藥店ニテ販賣ス

東京 室町 三共株式會社



理想の萬年ペン ウオーターマン 新荷

セエフチー萬年ペン 安全萬年ペン

萬年ペンカタログ申込次第進呈

四十二號 六圓五十錢 七百四十二號 八圓五十錢 十八金卷

京城本町 篠崎文具店

みだれ咲き

第百五十三回 島山碧波作 森田久畫

虎穴に入つて虎兒を得て來るやうな考へを持つお蓮は、自分の考へた策を一同に告げるさ、誰れも彼れもお蓮が夫れほどまにして操子の危難を救はうとする誠意を喜んだ。

『そんな大膽な眞似をして貴女が迷惑が掛るやうなことが無いでせうか』

流石婦人の心も弱く、お蓮の厚意を喜んだ初江夫人も、後になつてお蓮の身に振り掛る迷惑を思ふと、言下にお蓮の獻策を容れ兼ねるのであつた。

『御安心遊ばせ、決して迷惑など掛けません、其代りお嬢さんのお身體は少しも早く此方へ引取つてしまはなければ劒呑ですから、花の家の近所へ自動車を持つて居て待つし居て下さいまし』

健氣な決心をして居るお蓮は假令どのやうなことがあらうとも操子を盗み出す自信があるやうであつた。

『夫は安心して下さい、僕が自動車を借りて來て運轉して行きます』

『さうだ牧野君が自動車の運轉をして行つて見れば鬼に金棒だ』

次郎吉老人は牧野の言葉を聽くさ、モウ操子を盗み出し得たやうな快感が起るのであつた。

『では左う云ふことに極めます、皆さんに御異存は御座いませんでせうね』

『さう極れば少しも早く仕度しなければならぬ』お蓮は初江夫人を始めお伊代等の意向を訊いた。

『斯う云ふことは少しも早い方が宜しう御座います』

『でも貴女の身體に萬一のことがあつては大變です』

初江夫人は多少躊躇をして居た、萬一遣り損じた場合に、お蓮の嬢々迷惑を察して大なる不安を感じて居るやうであつた。

『お花ちゃん……』

次郎吉老人は初江夫人の意中を看破した、從つて自分から事を極めてしまはうより外は無いと思ひ、我子を呼んで一寸目配せをなし。

『奥様は我々に御遠慮をなさつて居るのだ、さア是から連れて行くから仕度をしろ』

『はい……』

親子は今夜の内に操子を盗み出す計畫であるから、手早く仕度を終るさ牧野に向ひ。

『牧野さん、夫では貴郎は是から俺達と一緒に臺所を廻めて探いて下さい』

『承知しました、夫では一緒に行きませう』

夜になつてお蓮が操子を盗み出す時間を豫め極めるさ、初江夫人に挨拶をした次郎吉は。

『娘を置いて直ぐ參りますが、御都合で奥様も貴方も東京へ出て御待ちになつて居て下さい』

『さうですわね、夫では私達は此の前行つた兩國の清水館で待つて居ませう』

『では左様願ひませう』

操子を盗み出す相談が確定すると、一同は市川を後にして東京へ出た、さうして次郎吉親子は牧野を連れて向島へ赴き花の家の裏木戸を教へて置いて右と左に別れた。

『御免下さい、お女將は居ますかね』

お蓮を連れた次郎吉はさすがに直接花の家の暖簾を潜いだ、するさ聲を聞き付けて奥から出て來た女將のお謙か。

『おや次郎さんですか』さ云つて次郎吉の背後に佇立むお蓮の姿をヂロリと眺めた。

『時に先達て置いて行つた品ね、まだ使ひ道にならないで持出して居るわ』

夫さ云く操子が、到底を張り通して自分達の命に從はぬのを告げた。

『さうですか、然し夫はお宅の手入が悪いのでせう』

山さの言葉に川さ答へて何氣なき態度を示し。

『時にお女將叩き分けで稼ぎ度いさ云ふ娘さんがあるんですが、ごうでせう』さ云つて態さらしく女將に何か目配せをするさ

『さうだわね』女將も左る者で、早くも言葉尻に勿體を付けて美しきお蓮の姿をヂッと見遣つた。

みのや 京城大和町壹 京染店 長電一四六二

玩具に就て世人の研究を望む(二)

北原延子(寄)

◎然るに現今の玩具店にありては上述の意味を多少なりとも含有せるものは殆ごない玩具屋は何が爲めにいかなる目的を以て玩具店を開いて居るかに不安を抱かざるを得ない事がある。私が買物に行かんさする時には必ず『御土産を』さ四人の子供が要求するので本町へ行けば何かあるだらうさ云ふ様な淡い望みを以て『ハイ……』さ輕く受けあつて出かける右側でも左側でも玩具屋さ云ふ玩具屋は一々の背へつき入れてあれかこれかさ物色するがごうしても自分の思ふ様なものがそれこそ見當らないでいよ〳〵最後の一軒へ飛込んだ時には『何でもよいから』さ云ふになる、それでも動かない自動車や子供の指の長さにも足らない様な百姓道具を買ふなり『まあこれの方が』さ云ふので漸く々なからテニスの道具を揃へさせる時には選み選んだそれでも不滿足の一つを四人共用使用さ云ふ何れにも可愛想の境遇に陥れる事もある。

◎こう考へて來るさ實際私には玩具店を解する事が出來なくなる私の觀察では彼等同業者は非常に不親切だと思ふ彼等は無益で而も破安いものを高價に賣つて平氣で居る中には嬰兒に與へる様な品にも硝子又は硝子に類似せる極めて薄い危險物にて造つてあるものも少くはないまた玩具さして價値あるもの有益なものゝ高尚味を有せるもの等は殆んさないさ云つてもよい位である

我等の俳句

坡御

○
蕎麥の莖赤きつまゝるゝかな
すぐり菜さ茄子も籠の夕餉女
大根畑の夕暇ていさ遊ぶる
吾さ背狩の山傳ひして海見ゆる
夜寒羽織るゝ見神さの思ふさき

○
間引菜一つかみの妻の早朝
門を行く秋の夜の醉を唄ひつゝ

一八、九、一六― 鳥常

○來十九日より子規忌な夜を始む 烏鷺居

日報俳壇

○鷺啼く夜空 山本 春草(新義州)
鷺啼いて夜空を飛ぶや秋闌
射的場に振る赤旗や雲の峰
ラケット提げて歸る野道や月涼し
空伸並へる河岸や行々子
米を研ぐ泊り小舟や行々子

○ 晃 缺子(京城)
蕭風や弓射る空に澄める鳥
藏に掴みて葛色つきぬ秋闌
柱時計に蜂の唸れる眞晝かな
熱引きし兒に鳴く虫や籠の中
避暑地靜かに夜明や雨の風

○ 石川 雅夫(京城)
蟬鳴くや寂古りたる庭裏の森
牛喘ぎ過ぐる野路や旱雲
星もなき土手を戻るや月見草
病める弟に口數多き暑さかな

○ 小川 燦蝶(京城)
雨に倒れダリヤを切りに日影りを
支那人石を刻み居て
炎天や屋根に伸びたる物の蔓
出水引きたる宵の碑や月見草

○ 三根 五葉(第二面)
人夫等の還しき顔や秋の風
豆腐屋の鈴に眼覺めぬ秋の朝
秋風に蜘蛛の巣光る日かな

人參ミルクキャラメル 夏期に安全優美高尚の營養に富む

新刊紹介

▲露西亞評論(二の九) 露西亞に東露問題の新消息を得へ時事を論じたる雜誌にて露西亞文藝を際載す(三十五錢、東京赤阪區丹後町五番地)

▲社會主義研究(一の五) 堺利彦山川均兩氏執筆、社會主義研究の雜誌なり(月二十五錢、東京芝新櫻町九平民大學)

▲刀劍ご歴史(二〇八) 刀劍に關する趣味ある記事を掲げ且つ史蹟雜談等料等にも有益の記事多し(三十五錢、東京下澁谷東邊宮御料地羽澤文庫)

▲奉天商業會議所月報(八ノ二) 武拾錢 滿洲奉天小西關奉天商業會議所

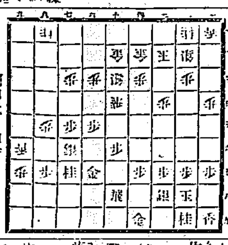
▲ライオンコスモス(一ノ二) 五錢 東京市本所區外手町六ライオン講讀會本部

夜長の命令

▲廿八男氏に答ふ 多汗の人は局部を酒精で洗ふか又はアルコールで洗つても宜敷いさの事です又は夫の毒素を試みたら如何です◎ナフトール一〇、密陀一七五、○コロン香水五〇、右混和して濕布洗ひます然し之は僕が實驗した事ではありません

將棋新手合(其四)

左香落 京城 佐藤八十二郎(初段) 釜山 園田毅(二段)



持駒 佐藤氏 角歩 園田氏 角歩

駄々子の樣

『子寶』ないのは子宮病から

今が一番大切な時

◎月經の不順な人
◎逆上頭痛の人
◎肩凝り眩暈する人
◎足腰下腹痛む人
◎手足が冷える人
◎おりものがある人

◎子寶のない理由

婦人病の大敵

婦人病者の心得

販賣價格改正稟告

◎ミツワ石鹸

劈々稍冷凉を覺へ候折柄、各位益〻御隆昌奉慶賀候、陳者小店毎〻御眷顧を蒙り業務逐日發展仕候段厚く御禮申上候、殊に東洋唯一の聲價を持續仕り候段、常に感佩罷在候に就ては、最善の努力を以て御厚志に報ゆべく奮勵致居候處、御了知の如く現今の各原料及諸工費の奔騰は、如何に犠牲的奮勵を拂ふも、現在の價格を以ては到底從來の品質を保持仕難き次第に相成候に付き、今般

大形 壹個に付 約金三錢

中形、小形も之に準じ、又ミツワ各種石鹸も幾分値上仕候、寔に遺憾千萬の儀には御座候得共、萬不得已次第に有之候間、事情御諒察の上不惡御承認相成倍舊御引立御用命の程偏に懇願奉申候 敬具

大正八年九月

ミツワ石鹸 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 ミツワ人參錠 ミツワ捏粉 ミツワドロップス 御園白粉 御化粧品

發賣元 東京市日本橋區橋町四丁目 藥種、藥品、石鹸、香粧品、小間物問屋 登録商標 丸見屋商店 電話長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

有名 りん病 はり昌 請合藥
百圓 懸賞
にせ物あり
京城南大門外 青田ドラッグ
龍山 兵塲前 釜山大廳町二丁目 元山本町三丁目 平壤櫻町十二番地 仁川宮町二丁目 大邱 停車場前 開城 本町 咸州 大安洞 大連 岩代町
全國の都市に支店あり

最新刊 國體新論 法規全書 裁縫奥儀
大阪屋號書店

滿洲勞働問題 法王廳ご日本